

若菜下(保・阿)

11 25 01 おもへとも思ながら阿
 11 25 01 いへる いひたる阿
 11 25 01 なそかくなそや阿
 11 25 02 すくさむすくさんと阿
 11 25 03 世おり阿
 11 25 03 つけてもつけて阿
 11 25 03 おほかたにてはおほかたには保 大方につけては阿
 11 25 03 おしくかしこく阿
 11 25 04 院かの院阿
 11 25 04 なまゆかむすこしなまゆかむ阿
 11 25 04 そひにたらんそひにけむ保 つきにけん阿
 11 25 05 給へり給へる阿
 11 25 05 すゝろはしけれとそゝろはしけれと阿
 11 25 05 花の花を阿
 11 25 06 殿上のて上の保
 11 25 06 のりゆみ小弓阿
 11 25 06 きさらぎと二月のほとに阿
 11 25 07 ちおしくと口おしう阿
 11 25 07 かゝるまごゑちかく御まごひ阿
 11 25 08 つとひたまふつとひ給ふ後補力保 ナシ阿
 11 25 08 左右大将ひたりみきりの大将保
 11 25 08 たまへはすけたち給へればすけ阿
 11 25 09 こゆみとのたまひしかとかちゆみのすくれたるこゆみなどの給をすくれたるかち弓の阿

11 25 10 上手とも上すとん保
 11 25 10 ありければナシ阿
 11 25 10 いさせつかうまつらせ阿
 11 25 10 殿上人とも殿上の人々も阿
 11 25 11 心こゝろわけて保心をつけて阿
 11 25 11 こまどりに方わきてくれゆくみなかたわかれ行阿
 11 25 11 とちむるとかむる阿
 11 25 12 やすからてやすからず阿
 11 25 13 えむなるかけものともこなたかなた人々の御心えもいはぬかけともこなたかなたの人御心とも阿
 11 25 13 かけものともかけ物とん保
 11 25 14 やなぎのはを柳の葉をも阿
 11 26 01 いとるむしんなりやいとるかむしむなりや「るかニ修正アルカ」保いとむらんなりや阿
 11 26 01 てつきともてつきとん保 てつかひ阿
 11 26 02 おりたまふに「テ」くたし給に「ニ削訂力」保くたし給阿
 11 26 02 衛門督ゑもんのかみ保
 11 26 02 なかめをしつゝたゝなかめをしつゝ保 たゝなかめのみしつゝ阿
 11 26 02 かのナシ保
 11 26 03 いとナシ阿
 11 26 04 いてくへきいてきぬへき保
 11 26 04 世にやあらむにや阿
 11 26 04 君たち君とも保君と阿
 11 26 05 なからひならひ阿

11 26 05 なかにも中にも阿
 11 26 05 事にてもにつけても阿
 11 26 06 うちまきるゝうちなけく阿
 11 26 06 あらむをあらんは阿
 11 26 06 おほえたまふおもほえ給阿
 11 26 07 みたてまつるにみたてまつるに保見奉るも阿
 11 26 07 心は心はへ阿
 11 26 07 あるへき有へい阿
 11 26 07 ものか物かは阿
 11 26 07 なのめならむなのめならむ人のあたり保なのめならむたり阿
 11 26 08 けしからすけしからぬす裸 ナシ阿
 11 26 08 人にてむつかるへき人にくまるへからん阿
 11 26 08 思ものを思を阿
 11 26 08 ましてまいて阿
 11 26 09 おもひわひては思あまりては保思わつらひては阿
 11 26 09 えてしかなえてしかなと阿
 11 26 09 かたらふへくはかたらふへくも阿
 11 26 10 おもふに思ふにも阿
 11 26 10 ものくるおしく物くるおしう阿
 11 26 11 いかてかはいかてかさは阿
 11 26 11 女御々方女御の御かた保阿
 11 26 11 まいりてまいり給て阿
 11 26 12 心はつかしき心はつかしけなり阿
 11 26 13 なしなきに阿

11 26 13 けとをく… 11 27 08 おなしやうな『大成』落
 丁トスルモ、本文アリ保
 11 26 14 あやしくはあやしくは保あやしく阿
 11 26 14 わさそかしとはさまなりと阿
 11 27 01 心から心かは阿
 11 27 01 まいり給てに給て阿
 11 27 01 ろなう(又)又なう保
 11 27 02 あらむかしとあらむかし保
 11 27 02 めとゝめてめととゝめて保
 11 27 02 みたてまつるに見奉り給に阿
 11 27 02 などはあらぬなとけあらぬ阿
 11 27 03 はたは阿
 11 27 03 なまめかしくなまめかし(又)後補力保
 11 27 03 おはしますおはしませは阿
 11 27 04 たりけるたりけるを阿
 11 27 05 まいれる有ける阿
 11 27 05 みるに見るにも阿
 11 27 06 六条の院のひめ宮六条の岩もることとはかひ
 め宮阿
 11 27 06 おかしうをかしく保阿
 11 27 07 なむそ阿
 11 27 07 わさとねこわさと保阿
 11 27 07 らうたくらうたう阿
 11 27 07 せさせたまふし給阿
 11 27 07 御心にてくはしくとはせ給御心にてくはし
 うとひきかせ給保
 11 27 08 とはせとひきかせ保とひ聞え阿

11 27 08 からねこのゝのたかへるかうねこのむ
 らにかたかけたる阿
 11 27 09 心おかしく人なれたる心うつくしくなれた
 る阿
 11 27 10 ゆかしく床しう阿
 11 27 10 おほさる許おほすへく保阿
 11 27 10 あのことくあのこと保そのち阿
 11 27 11 きこえさせきこえ保阿
 11 27 11 たまへり給阿
 11 27 11 いとゝめてたく保
 11 27 12 衛門督ゑもんのかみ保
 11 27 12 おほしたりきおほいたりき阿
 11 27 12 御けしきを御けしき阿
 11 27 13 みをきてみをいて阿
 11 27 13 なりしなりし保ナシ阿
 11 27 13 朱雀院のとりわきてす尺院のとりわきて
 保す尺院にわきて阿
 11 27 14 おほしつかはせ給しかはおほしつかはせ給
 し君なれば保おほしたりし君なれば阿
 11 27 14 御山すみ御山こもり阿
 11 27 14 きこえてはきこえ給ては保奉給ては
 阿
 11 27 14 又この宮にも此宮にそ阿
 11 27 14 したしうしたしく保阿
 11 28 01 まいりナシ阿
 11 28 01 きこえたりきこえ給保
 11 28 01 御こと御琴阿
 11 28 01 御ねこともねことも保御ねこ阿
 11 28 02 侍にけりそひにけり阿

11 28 04 ことにナシ阿
 11 28 06 まさるともまさるとん保
 11 28 07 たまはりあつからむ給てあつかり侍らん
 阿
 11 28 07 心の中に心のうちに保心の中には阿
 11 28 07 かつはナシ阿
 11 28 07 おほゆるおほゆる保阿
 11 28 08 あたりちかくあたりにちかく保これをあた
 りちかく阿
 11 28 08 ねこのその阿
 11 28 10 すそにまつはれよりふしむつるゝをすそな
 とにまつはれきつゝむすふるも阿
 11 28 10 いたくナシ阿
 11 28 11 ちかくちかう阿
 11 28 12 うたてもうたて保
 11 28 12 すゝむかなとすゝむるかなと阿
 11 28 12 ほゝゑまるほゝゑみて阿
 11 28 12 ほゝゑまるほゝゑみて阿
 11 28 13 てならせはてならさは阿
 11 28 14 なくをなく保
 11 29 01 時めくときめきさま保ときめき阿
 11 29 02 かやうなるかやうの阿
 11 29 02 御心にと御心にと御八後補力保
 11 29 02 とかめめとゝまり阿
 11 29 02 とりこめてとゝめて阿
 11 29 03 左大将殿大将殿阿
 11 29 03 右大将の君を右大将君には阿
 11 29 04 かとゝしくかとゝしき阿
 11 29 05 たいめんたいめ阿
 11 29 05 時ゝもこまやかに折ゝ思阿

11 29 05 けしきなくけしきもなく保
 11 29 06 なくもてなし給つれば大将もしけいさナシ
 阿
 11 29 06 給つれば給へれば保
 11 29 06 うと／＼しくをよひかたけなる御心さまこ
 と／＼しくをよひなき御さま阿
 11 29 07 御むつひおほむつひ保
 11 29 07 おとこ君おとこきみは保
 11 29 08 まして／＼はて給て阿
 11 29 08 北の方をもきたのかたお保阿
 11 29 08 はて／＼はて給て阿
 11 29 09 ㄥキこえナシ阿
 11 29 09 御はらにはおとこきむたち御はらに男君
 阿
 11 29 10 えて／＼えて保
 11 29 11 人わらへ人わらはれ阿
 11 29 11 おほしおもほし阿
 11 29 11 の給みこのの給に此阿
 11 29 12 やむことなくやんことなくて阿
 11 29 12 御心よせいと御かたさまの心よせも阿
 11 29 13 ことをは／＼ことを阿
 11 29 13 おほかたも大かた阿
 11 29 13 いまめかしくいまめかしく阿
 11 29 14 おかしくナシ阿
 11 29 14 院院と阿
 11 29 14 さしつきつき阿
 11 30 01 つかうまつりつかまつり保
 11 30 01 世人も世に阿
 11 30 01 おもひきこえけりおほえ給へり阿

11 30 02 かるくかるく保なく阿
 11 30 03 事るい阿
 11 30 03 おほしもおほし阿
 11 30 03 衛門督をゑもんのかみを保ゑもんのかみを
 そ阿
 11 30 04 おもひおとしおもひをとひ阿
 11 30 04 たてまつるにや給入るにや保給てや
 阿
 11 30 04 かけても思ひよらぬそさも思よらぬは
 阿
 11 30 05 あやしくなをナシ阿
 11 30 05 ありさまにもあらずもてちたまへるを有
 さまにけちたるも阿
 11 30 06 おほしておもほして保
 11 30 07 思ひておもふ保阿
 11 30 07 いまめきたるいまめいたる阿
 11 30 07 御心さま心さま阿
 11 30 07 兵部卿官兵部卿の官保
 11 30 08 おほしけることともはおほしし事も阿
 11 30 08 たかひてたかひ阿
 11 30 09 世中もよの中保阿
 11 30 09 人わらへにナシ阿
 11 30 09 おほさるゝにおもほさるゝに阿
 11 30 09 すくすへきとすくしてむと保すくさんなと
 阿
 11 30 10 大宮おほち宮も阿
 11 30 12 かしこくかしこつ阿
 11 30 12 なりとなりなと保なりやと阿

11 30 13 たてまつり給はずたてまつり給はて保奉ら
 て阿
 11 30 13 うけひき申給つうけひき給つ阿
 11 30 14 なきをなく阿
 11 30 14 おほせとおほす阿
 11 31 01 いひすへしいひすてくし保いひすくひ
 阿
 11 31 01 大宮は女におほち君は女子の阿
 11 31 02 さま／＼さま／＼に阿
 11 31 02 おり／＼をり／＼も保
 11 31 02 おほかるにおほかるにも阿
 11 31 03 事の御ことの保
 11 31 03 おほえて哀におほえて阿
 11 31 04 とし／＼とし保
 11 31 04 たまふナシ阿
 11 31 04 はたは阿
 11 31 04 したかはすとてしたかはすとて保
 11 31 05 みすてられためれば見すてらるめれば阿
 11 31 05 たち御てつからみつからみたち阿
 11 31 06 御心には御心に保阿
 11 31 07 給にける給へりける阿
 11 31 07 むかしのかの阿
 11 31 08 たてまつりナシ阿
 11 31 08 みむと見んなと阿
 11 31 08 おほしけるおほしたる保おほしの給
 阿
 11 31 08 あしくはあしうは阿

11 31-09 おほすにくちおしくやありけむおほすやく
 ちおしかりけん阿
 11 31-10 大宮 大宮は保 宮なけき給ふ阿
 11 31-10 いとナシ阿
 11 31-10 なけきたりナシ阿
 11 31-10 はゝ君もはゝ宮も保 はゝ君阿
 11 31-11 たまへれと 給へれ保 給つれと阿
 11 31-11 いてくる時 つくおり阿
 11 31-11 うき世と うきことに阿
 11 31-11 大将の君もされはよ 大将もされはよと阿
 11 31-12 いたくいといたく保阿
 11 31-12 たまへる 給へる保
 11 31-13 思ひ給へり 思きこえ給へり保
 11 31-13 にや ナシ阿
 11 31-14 御さま 御有さま阿
 11 31-14 給には 給て阿
 11 31-14 いかにおほしみ給はまし わかすみ給はまし
 阿
 11 32-01 おほしいてけり 思いて給けり阿
 11 32-01 みきこえむとは みきこえむとまては保 見
 奉らんとまては阿
 11 32-02 なさけノノしう なさけノノしく保
 11 32-02 わたりしをきし阿
 11 32-03 やつさま保 物阿
 11 32-03 きゝおとし給けむといときゝをとひ給けん
 阿
 11 32-03 おほしわたる おもほしわたる阿
 11 32-04 きゝゝきゝかよひ保阿

11 32-04 ことも ことん保
 11 32-04 なと ナシ阿
 11 32-05 よりも より阿
 11 32-06 御けしきも けしきを阿
 11 32-06 しらすかほ しらぬかほ保
 11 32-06 まつはし まとはし阿
 11 32-07 御心は 御心はへ阿
 11 32-07 つねに ナシ阿
 11 32-08 ゑんし ゑし保 ナシ阿
 11 32-08 きこえ給 聞え給へりける阿
 11 32-08 みこたち 御子たち阿
 11 32-08 のとかに のとやかに保阿
 11 32-08 たにこそ こそそれをたに阿
 11 32-09 給を 給阿
 11 32-09 宮も みや保
 11 32-09 もりきゝたまひてはいと きゝ給てはたいと
 阿
 11 32-10 猶 ナシ阿
 11 32-11 たえさりしかと たえさりしを阿
 11 32-11 かつかく保 かやうに阿
 11 32-11 物を 物をと阿
 11 32-12 いとゝ ナシ阿
 11 32-12 こひ忍ひ阿
 11 32-12 ぶるさとにいとぶるさとに阿
 11 32-12 のみ ナシ阿
 11 32-14 御中 御ながらひ阿
 11 32-14 すくしすこし阿
 11 32-14 はかなくて年月もかさなりて わりなくすく
 るに年月かさなり行阿

11 32-14 御くらぬにつかたまひて 御位にて阿
 11 33-01 ならせ給ひぬ なり給にけり阿
 11 33-01 つきの君とならせたまふ つきのみかとゝな
 り給ゝ後補力保 つきにぬ給ふ阿
 11 33-01 みこも保阿 御子も阿
 11 33-01 おはします おはせず阿
 11 33-02 ものゝはへなきに世中 物のはへなき心ちし
 て世中也阿
 11 33-02 おほゆるを おもほゆるを阿
 11 33-02 人々 人阿
 11 33-02 たいめん たいめ保阿
 11 33-03 わたくしさまに わたしさまにても阿
 11 33-03 すきまほしく すまゝほしゝは 刀削ッテゝ
 書ク力保 すくさまほしく阿
 11 33-03 なむと となと阿
 11 33-03 のたまはせつるを ひころいとを もくなやませ
 たまふ事 わたり給になやみ給事さへ阿
 11 33-04 おりぬさせ おりさせ阿
 11 33-05 世の人 世人阿
 11 33-05 さかりの さかりなる阿
 11 33-05 のかれ 御心とのかれ保阿
 11 33-05 ことゝ事阿
 11 33-05 なけゝと なけくと阿
 11 33-06 給ひにたれば 給たれば阿
 11 33-06 うちつきて 打つゝきて阿
 11 33-07 けちめも けちめ保
 11 33-07 おほきおとゝ おほきおほいと保 大きおと
 ゝも阿
 11 33-07 へうへうを返し阿

11 33 08 かくかしこきさかしきさかりの阿
 11 33 08 みかとのきみみかとのきみき力にヲ削ッテ
 のヲ書ク力保
 11 33 08 くらゐをさりかく御位おり阿
 11 33 09 かうふりをかけむなにかかうふりをかけむ
 なにかふりをかけむニ削訂力保 かうふり
 をかけんはなにの阿
 11 33 09 おほしのためひて左大将おもほしの給に大
 将殿なん阿
 11 33 10 右大臣 大臣保阿
 11 33 10 給てそ世中のまつりこと給て世の御つしる
 みは阿
 11 33 10 つかうまつりつかまつり保
 11 33 10 給ける 給けり阿
 11 33 10 女御の君 女御君阿
 11 33 11 御世をもよを保
 11 33 11 御くらゐ 位阿
 11 33 11 たまへれと給へれとも阿
 11 33 12 六条の女御の御はらの 六条院の女御の御母
 阿
 11 33 12 うちの宮 一宮阿
 11 33 12 はつ 春宮阿
 11 33 13 おもひしかと思しかとも阿
 11 33 13 めてたくめおとろかるゝめてたくもおとろ
 かるゝ阿
 11 33 14 けり ナシ阿
 11 33 14 右大将の君 右大将のきみは保 右大将君
 阿
 11 33 14 大納言になり 大納言にてれいのひたりにわ

たり保阿
 11 33 14 たまひぬいよゝ給ふ阿
 11 34 01 六条院は六条院には保 六条のおとゝは
 阿
 11 34 01 冷泉院れせい院保
 11 34 01 御つきつきの保 御つききの阿
 11 34 01 おはしまさぬ おはしまさぬ事阿
 11 34 02 御心の内 心中阿
 11 34 02 おほす おほしめす保
 11 34 02 御事 事阿
 11 34 03 はかり ナシ阿
 11 34 03 えつたふつたふ阿
 11 34 03 さうゝしくさうゝしと阿
 11 34 04 のたまひあはせぬのたまはせぬ阿
 11 34 04 いふせくいふせくのみ阿
 11 34 05 みこたち 宮たち阿
 11 34 05 あまた あまたに保
 11 34 05 いとゝいと阿
 11 34 06 つけても つけて阿
 11 34 06 冷泉院れせい院保
 11 34 07 たまへる 給ける阿
 11 34 07 六条院の御こと 六条のおとゝ阿
 11 34 08 年月とし保
 11 34 08 たまへり 給へりるヨリニ直ス力保
 11 34 08 院の御かとおほしめしゝ院の御門もおほし
 ゝ阿
 11 34 09 みゆきも みゆき阿
 11 34 09 かくてしもけにめてたくけに阿
 11 34 10 ひめ宮の御事は 姫君の御事を阿

11 34 10 みかと御心とゝめて みかとそ心にとゝめて
 保
 11 34 10 給ふ 給へり阿
 11 34 11 もてかしたつかれたまふを思かしたつけれ給へ
 と阿
 11 34 12 ぶるまゝにぶるゝまゝに阿
 11 34 12 かはし ナシ阿
 11 34 13 へたてもへたて保
 11 34 13 かつ かく保阿
 11 34 14 をこなひをも おこなひを保おなひをも
 阿
 11 34 14 この世はかりとこの世はかりにこそと
 阿
 11 35 01 心ちする ナシ阿
 11 35 01 さりぬへきさまにおほしゆるしてよとまめ
 やかにきこえたまふおりゝあるをあるまし
 くとおりゝ聞え給をあさましく阿
 11 35 02 ぶかき ナシ保
 11 35 03 なれとも阿
 11 35 03 おほえ 思阿
 11 35 03 給ひ 給保阿
 11 35 04 よりこそよりてこそかく阿
 11 35 04 こと 心阿
 11 35 05 とまかくもとかくも保
 11 35 05 おほしなれなどのみさまだけ 思なり給へた
 のみ阿
 11 35 05 女御のきみ 女御君阿
 11 35 05 こなたを こなたをのみ阿
 11 35 06 御おやに 御おやには阿

11 35 06 かくれかかくれ保
 11 35 07 ものしナシ阿
 11 35 07 ゆくさきたのもしけにゆくゑたのもしう
 阿
 11 35 07 あまきみも 尼君いと 阿
 11 35 08 のこひたゝらしてのこひたゝして保
 11 35 09 なかきなかきを阿
 11 35 09 ためしにためしにも阿
 11 35 10 給はむとて春宮の女御の御いのりに給宮の
 女御の御祈阿
 11 35 10 までまつて保まつし阿
 11 35 10 あけてあけさせ給て保
 11 35 11 御覽すれば御覽しけるに阿
 11 35 11 おほかりあり阿
 11 35 12 世のナシ阿
 11 35 12 くはへたるくはへたり阿
 11 35 12 くわんともくわむとん保
 11 35 13 ならてはならて保
 11 35 13 思ひナシ保
 11 35 13 はしりかきたるはしノかきたる阿
 11 35 13 おもむきのさえノしくをもむきさうノ
 しくは阿
 11 35 14 はかノしくはかノしくて保かひなかる
 へしふかきを阿
 11 35 14 ほとけ神神仏阿
 11 36 01 いかていかてかは阿
 11 36 01 あはれにあはれにも保
 11 36 02 しはしナシ保
 11 36 02 かりそめにかりそめにても阿

11 36 02 むかしの世さきのよ保
 11 36 03 をこなひ人おこなひ人など阿
 11 36 03 おほしめくらすにおもほしめくらすにも
 阿
 11 36 03 いとゝかるノしくもおほされさりけりか
 るノしくいとゝおもほしなされす阿
 11 36 04 心をはあらはしたまはすたノ心をはあらはし
 給はて阿
 11 36 04 御ものまつて御まつて阿
 11 36 05 程ほと阿
 11 36 05 ともナシ保阿
 11 36 05 はたし年ころはたし阿
 11 36 06 給へれとも給へれと保
 11 36 06 世中世阿
 11 36 06 かくなかく保阿
 11 36 07 おほむたすけ御たすけ保阿
 11 36 07 くしきこえさせたまひてまつてさせそひて
 まふて阿
 11 36 08 いみしくいみしう保
 11 36 08 そきすてナシ阿
 11 36 09 あるましくとはふかせたまへとあるましく
 とはふかせ給へと磨滅ヲ推読保はふかん
 とし給へと阿
 11 36 09 ありければあれは阿
 11 36 09 よそほしくなむかたちちめもよそほしくなむ
 かむたちちめ磨滅ヲ推読保上達部阿
 11 36 10 ふた所をふころ磨滅保
 11 36 10 ヲよきたてまつりてはをきては阿
 11 36 10 つかうまつり給つまつり給磨滅保

11 36 11 まひ人舞人たち阿
 11 36 11 糸ふのすけとものかたち糸ふののか「磨
 滅保糸ふのすけたち阿
 11 36 11 たけたちたけ保
 11 36 11 ひとしきかきりをひとり磨滅保ひと
 しきを阿
 11 36 11 えらせ給えらせ給磨滅ヲ推読保との
 へて阿
 11 36 12 いらぬをはいを磨滅保
 11 36 12 はちにつれへなけきたるはちにつれへなけ
 きたる磨滅ヲ推読保いみきつれへに思
 ふ阿
 11 36 12 すきものともすき 去磨滅保
 11 36 12 へいしうもへいしうともは阿
 11 36 13 なとナシ阿
 11 36 13 みちみちすち阿
 11 36 14 かきりを限阿
 11 36 14 くはゝりたるけつくはゝりたる阿
 11 36 14 近衛つかさ兵近衛つかさ保
 11 37 01 かきりをかきり保阿
 11 37 01 御かくらみくら阿
 11 37 01 いとおほくつかうまつりナシ阿
 11 37 01 つかうまつりつかまつり保
 11 37 02 つかうまつるつかまつる保つかうまつり給
 へる阿
 11 37 03 かんたちちめ御むまくら馬くら上達部の
 阿
 11 37 03 隨身ことねりわらはすいしんとも阿
 11 37 03 とねりなとことねりわらはなにくれ阿

11 37 04 女御殿たいのうへうへ女御の君阿
 11 37 05 たてまつりたり奉りて阿
 11 37 05 御くるまには御車に阿
 11 37 05 しのひてのりたまへりいと忍てくしたりける阿
 11 37 06 御めのと心しりにてのりたりかたへのひとたまる御めのとたちともしりにのれりつき
 /への人阿
 11 37 07 女御とのいづ女御御との阿
 11 37 07 御あかれの御あかれは保
 11 37 07 ありさまあるさま阿
 11 37 08 さるさは保ナシ阿
 11 37 08 あま君をは尼君は阿
 11 37 08 おいのなみのしはのふはかりに老の波しはのふるはかりいと阿
 11 37 08 人めかしくて人めかしうて阿
 11 37 09 まつてうちまつて阿
 11 37 09 かくナシ阿
 11 37 09 ひなき御ひなき阿
 11 37 10 たちましらむまたちましらはむもいと保立
 ましらん事阿
 11 37 10 もしナシ保
 11 37 10 世中を世中阿
 11 37 11 しつめいさめ阿
 11 37 11 うしろめたくてうしろめたく阿
 11 37 11 物ゆかしかりて物ゆかしかりして保阿
 11 37 12 にほひにほひいて阿
 11 37 13 契御ちぎり保
 11 37 13 みありさまありさま保御有さま阿

11 37 13 中のなかの保
 11 37 14 などなとも保阿
 11 37 14 のみものみ阿
 11 38 01 きかぬかほきかすかほ保
 11 38 01 こまもろこしもろここま保
 11 38 01 あつまあそひのあつまあそひの有さまに阿
 11 38 02 なみかせなみ保阿
 11 38 02 松風に松風を阿
 11 38 03 しらへにはしらへに保
 11 38 03 かはりてかはり保阿
 11 38 03 しみことにしむまてみも心も阿
 11 38 04 ひやうしもひやうしも削訂力保はうしも阿
 11 38 04 とへのへとりたる方へのへとりたるかと保へのへたるか阿
 11 38 04 おとろしからぬもおとろしからぬそ阿
 11 38 05 すこすこく保阿
 11 38 05 おもしろくナシ阿
 11 38 05 きこえけり聞えける阿
 11 38 06 かさしのかさしのはなの保阿
 11 38 07 わかれてわかれす阿
 11 38 07 まかひいろふもとめ「まかひ」ひおもて「るふも」を「とめ」保
 11 38 07 すゑすゑつかた保「ゑ」阿
 11 38 08 くるぎつへのきぬにくるく上へのきぬには阿
 11 38 09 すわつかさねのすわつかさね保阿

11 38 09 くれなぬくれなぬの保阿
 11 38 10 うちしくれたるにうち時雨に阿
 11 38 10 松はらをは松原を阿
 11 38 11 すかたかたち阿
 11 38 11 いとしろくかれたるおきを荻のいとしろくかれたるを阿
 11 38 12 たかやかにたを「か」やかに阿
 11 38 12 ひとかへりすこし保
 11 38 12 おもしろくあかすそありけるあかすおもしろくそ見えける阿
 11 38 13 中比ながら阿
 11 38 13 ありさまも有さまは阿
 11 38 14 おほさるゝにおもほさるゝに阿
 11 38 14 ことうちみたれ事もうちみたれて阿
 11 38 14 かたりかたりいて保阿
 11 39 01 こひしく思ひきこえこひ聞え阿
 11 39 01 給けるたまつける保
 11 39 01 二のくるまにしのひてかの車に阿
 11 39 03 御たむかみ御たむかみ保阿
 11 39 04 うちしほたるうちしほれたり阿
 11 39 05 女御の君の女御のきみ阿
 11 39 05 思ひいつるも思いつるにも阿
 11 39 06 程を思ふほど保ほどを阿
 11 39 06 よをナシ阿
 11 39 06 そむき給しそむきたまひにし保そむきし阿
 11 39 06 さまへの物かなしきをさまへの物かなしき事とも阿
 11 39 07 ゆうしとゆうしく阿

11 39 09 ひむなからむと ひむなが覽とて保
 11 39 09 うちおもひける をもひける保阿
 11 39 09 なりけりに阿
 11 39 12 しまのしも保阿
 11 39 12 まかひて まかひわたれるに阿
 11 39 13 おもしろさま ナシ阿
 11 39 13 あはれさ あはれ保阿
 11 39 13 たいのうへ たひのうへは保たいのうへとし
 比の阿
 11 39 13 かきね かさね阿
 11 39 14 あそひにあそひにも保
 11 39 14 ふりふれ阿
 11 39 14 給けれ 給つれ阿
 11 40 01 とののみおさへし給はすましてかく宮こ
 のナシ阿
 11 40 01 とののみとののみを保
 11 40 01 かくかゝる保
 11 40 01 ありきは御ありきをは阿
 11 40 02 めつらしくめつらかに阿
 11 40 02 おかしくをかじつ保
 11 40 02 おほさるおもほさる阿
 11 40 03 すみの江のすみよしの保阿 すみよし(のえ
 へ)のへニエヲ書キ加エタカ「保
 11 40 04 ゆき霜阿
 11 40 04 おほしやれはおもほしやれは阿
 11 40 04 まつりの神の保まつ阿
 11 40 04 こゝろつけ心かけ阿
 11 40 05 するしにやするしや阿
 11 40 05 女御のきみ 女御君阿

11 40 06 てにとりもたる 手にとりもてる阿
 11 40 06 中つかさのきみ 中務君阿
 11 40 08 ゆふうちまかひ ゆふうちはらひ阿
 11 40 08 けにいちしるき けいちしるき阿
 11 40 08 つきへかすしらす つれへなくつきへ
 かすもしらす阿
 11 40 09 おほかりけるを おほかりけむを保阿
 11 40 09 きへかき阿
 11 40 09 れいのれい保 ナシ阿
 11 40 10 給 ナシ阿
 11 40 10 いてきえ いてきへ阿
 11 40 10 はなれて外ははなれ出て阿
 11 40 11 ことごとし保
 11 40 12 糸ひすきにたる 糸ひすゝみたるかたち
 阿
 11 40 12 ともとの保阿
 11 40 13 なを万さいへとさかき葉をとりかへしつゝ
 いはひなんさひへとさかきをくり返しへ
 祈阿
 11 40 14 おもひやるそいとんしきや思ひやらるゝそ
 いとんしき阿
 11 41 02 夜のよの保 ナシ阿
 11 41 02 なにへもあらてよしもあかて阿
 11 41 02 人々おもふ 人々はおもほす阿
 11 41 03 とものとの保とも阿
 11 41 04 ときはのかけに花のにしきをひきくわへたる
 と ナシ阿
 11 41 05 けちめをきておかしきかけはんとりつゝき
 てけちめをきつゝおしきとりつゝき阿

11 41 05 おかしきかけはんとりつゝきて おかしきか
 けはんとりつゝきて 削訂力「保
 11 41 06 めてたしとは ナシ阿
 11 41 06 おもへる おもへるかし保阿
 11 41 06 おまへ 御まへ保まへ阿
 11 41 06 せんかう せんかう保
 11 41 07 おしきにおしき阿
 11 41 07 をりてさつし物をしてさつし物の物阿
 11 41 07 とて ナシ阿
 11 41 08 をのかしへは をのかしへ保をのかとは阿
 11 41 08 ことへしくてことへしく保ことへし
 くも阿
 11 41 08 わつらはしき わつらはしきを阿
 11 41 09 神たからかむたから保 ことおほえかたく
 阿
 11 41 09 さまへにさまへ阿
 11 41 09 せうようをせうえう保 せうようのかきり
 阿
 11 41 10 いひつゝくるも いひつゝくるにも阿
 11 41 10 てるさくむつかしき てるさき保
 11 41 10 なれはなれはかゝす保 なれ阿
 11 41 11 入道の入道阿
 11 41 11 のみ ナシ阿
 11 41 11 あかさりける あかさりける保 有阿
 11 41 11 かたき かない保
 11 41 12 みくるしくや みくるこつや保 みくるこつや
 阿
 11 41 12 心たかく 心たかう阿

11 41 13 なめりなめる保

11 41 13 めてあさみ世のことくさにてあかしのあま君

とそさいはい人に明石のあま君ノとそめ

てあさえ(みイ)世のことくさに阿

11 41 14 大殿おとゝ保

11 42 01 御をこなひ 御おこなひ保

11 42 02 いみしくいみじう阿

11 42 02 行幸 行幸はかり阿

11 42 03 思ひいてられ給 思いて給保 おもほしいつる

阿

11 42 03 事も ことん保

11 42 03 のみ ナシ阿

11 42 03 えおほし 万おもほし阿

11 42 04 この かの保阿

11 42 04 猶 ナシ保阿

11 42 04 思ひ たのみ阿

11 42 05 御封 みぶ保阿

11 42 05 など なども阿

11 42 06 そふ まさる保阿

11 42 06 かく かくて阿

11 42 06 わか身 心にわか身阿

11 42 07 御もてなしに 御もてなしにて阿

11 42 07 をとらねと をとらぬに阿

11 42 08 さらむ さらぬ阿

11 42 08 そむき 世をそむき阿

11 42 09 さかしまやうにやめおほむとつゝまれてはか

ノしくも をよすけたらんやうにさかノ

しくも阿

11 42 10 御心よせことに かく御心よせことに心くる

しくて阿

11 42 10 をろかに おろそかに保

11 42 10 たてまつらむ たてまつり給はむ保阿

11 42 11 こと ナシ阿

11 42 12 ことノ はりととは ことノ 事はりととは保 こと

はりととは阿

11 42 12 おほされけれと おほさるれと保 おもほしな

れと阿

11 42 13 にて にてのみ阿

11 42 13 すくし すくし阿

11 42 13 女一の宮をこなたにとりわきてかしたきたて

まつり 女一の宮とりわきてこなたにかしつ

き聞え阿

11 43 01 ほとも ほとん保 ほとをも阿

11 43 01 うつくしく うつくしう保

11 43 02 大将の君 大将君阿

11 43 02 ないしのすけはらの君を 御ないしのすけは

らのきみを保 御子内侍のすけのはらなるを

そ阿

11 43 03 むかへてそむかへとりて阿

11 43 03 おかしけ かつくしけ阿

11 43 04 されおよすけたれば されてをよすけたり

阿

11 43 04 らうたかり らうたり聞え阿

11 43 04 おほししかとすゑノにおもほしくかとも

すゑに阿

11 43 05 なりそひ なりあひ保

11 43 05 たまふを 給て阿

11 43 06 これをこれ保一の阿

11 43 06 あつかひ あつかひをし阿

11 43 06 給ける 給阿

11 43 06 右の大殿 みきのおとゝ保阿

11 43 07 つかまつり つかまつり保

11 43 07 こと 事は阿

11 43 07 したしく ナシ阿

11 43 08 かの その阿

11 43 08 かけノしきすち 御かけノしきすちは

阿

11 43 09 わたりまつてたまふ わたりなとし給て保

阿

11 43 09 御たいめむ 御たいめ保阿

11 43 10 ひめ宮 姫君阿

11 43 10 おほときて おほときてのみ保

11 43 11 いと ナシ阿

11 43 11 心くるしく 心くるじう阿

11 43 12 朱雀院のいまは す尺院のいまは保 す尺院阿

11 43 13 さらんこの世のことかへりみしと思ひすつれ

といまさらに此世のかへりみせしと思侍れ

と阿

11 43 14 たいめむなんたいめなん保 たいめの

阿

11 44 01 わたり わたりまいり阿

11 44 02 にて に阿

11 44 02 まして まして保

11 44 02 かう かく保阿

11 44 03 ことゝ 事とて阿

11 44 03 まいり給へきことわたり給へきこと保わ
 たり給へき事阿
 11 44 03 おほしまづくおもほしまうけて阿
 11 44 04 なにわさをしてか御覽せさせ給へきナシ
 阿
 11 44 04 なにわさをしてかなにわさをかして保
 11 44 05 おほしめくらすおほしめくらすに保おほし
 めくらすなにさまのことをかはせさせ奉るへ
 きとおほしけり阿
 11 44 05 たりわたり阿
 11 44 05 わかななどわかるゝなゝと保
 11 44 05 てうしてやてうしてや保
 11 44 05 おほしておもほして阿
 11 44 06 しつらい御しつらひ保
 11 44 07 ことゝも事阿
 11 44 08 とゝめいれ阿
 11 44 08 なとを心ごとになどの保阿
 11 44 09 すくれたるかきりをすくれたるへく阿
 11 44 09 右のおほ殿右大将との阿
 11 44 09 御子ともことん保
 11 44 09 大将の御こと大との御子の阿
 11 44 10 内侍のすけはらのないしのすけのはらの
 保内侍すけのはらの君阿
 11 44 10 ちいさきちいさきも阿
 11 44 11 兵部卿の宮兵部卿宮阿
 11 44 11 宮たちの御ことも家のこのきみたちみなえら
 ひいてたまふ殿上のきみたちもかたちよくお
 なしきまひのすかたも宮家のこたちはまし
 らひいて給て殿上人もかたちもよくおなしま

11 44 12 きみたちきむたち保
 11 44 12 殿上のきみたちてむ上のきむたち保
 11 44 13 まひまひ保
 11 44 13 まつけをさせ事ためさせ阿
 11 44 13 給を保
 11 44 14 心をつくし給て心よせし給て阿
 11 44 14 みちノゝのものゝし上手みな物のしの
 阿
 11 45 01 ころ也比なりける阿
 11 45 01 琴きむ保阿
 11 45 01 給ひけるを給ける阿
 11 45 01 わかくて院にもわかく院の御て阿
 11 45 02 たてまつりナシ阿
 11 45 02 たまひしかは給にしかは保阿
 11 45 02 おほしておもほして阿
 11 45 03 御こと御琴阿
 11 45 03 ねなむねなむ保
 11 45 03 琴きむ保阿
 11 45 03 給へらむと給つ覽と保給つらんと
 阿
 11 45 04 しりうごにきこえ給けるを内にもきこしめ
 してけにさりとともナシ阿
 11 45 05 ことならむかしことならんかしと内にも
 阿
 11 45 05 御まへにてつくしおまへにてつくし保御
 まへにて手をつくし阿
 11 45 05 まいりきてまいりて保阿まいりきて
 保

11 45 05 きははやなどきははやなど保きく物にも
 かなと阿
 11 45 06 おとゝの君はつたへき給て年比さりぬへき
 ついてことにはおとゝの君つき給てさるへ
 きつぬてノゝには阿
 11 45 07 こともことん保
 11 45 07 けはひはけはひ阿
 11 45 08 あるあるへく阿
 11 45 08 手にはに保てにしも阿
 11 45 08 をよはぬをなに心もなくてをよひ給はぬを
 何心なくて阿
 11 45 08 ついてににつけて保
 11 45 09 ゆるしなくゆるしなう阿
 11 45 09 給はむ給らん阿
 11 45 10 事にもなり阿
 11 45 10 いとおしくいとをしう保
 11 45 10 おほしておほえて保おもほして阿
 11 45 10 きこえ奉り阿
 11 45 11 大くたいにかく保
 11 45 11 ひゝきひゝきかヲ削ツテヲ書ク力保
 11 45 12 いてゝやむことなるへき手の出つゝやん
 ことなきことの阿
 11 45 13 きこえ奉り阿
 11 45 13 おはするおはします阿
 11 45 13 心えたまふまゝにいとよくその心え給か
 いとになう阿
 11 45 14 いと人しけくなをひとたひもゆしあむするナ
 シ阿
 11 46 01 心あはたゝしければいと心あはたゝしけれ

11 46 01 心もしめ心をしつめ阿
 11 46 02 そのこの保
 11 46 02 をしへきこえをしへ聞え奉り阿
 11 46 02 女御のきみ女御君阿
 11 46 03 琴きむ保阿
 11 46 03 たてまつり給はさりければこのおり給しか
 は此おり／＼に阿
 11 46 04 みゝなれぬ見えなれぬ阿
 11 46 04 ひぎひぎいて阿
 11 46 04 給らんを給はんを保給も阿
 11 46 04 ゆかしとゆかしく阿
 11 46 04 おほしておもほしそひヲ削ッテほヲ書クカ「
 保
 11 46 05 まかてたまへりみこふた所をはするを又もけ
 しきはみ給てナシ阿
 11 46 05 ふた所をはするみこころをはする保
 11 46 06 給へれば給へは阿
 11 46 07 十一月十一日保
 11 46 07 御せうそに御つかひ保阿
 11 46 07 ついてにつめてにて阿
 11 46 08 よる／＼よな／＼阿
 11 46 09 夜のよの保
 11 46 10 夜のよの保
 11 46 10 あひたるあひ給たる保あはせたる阿
 11 46 10 手ともてともを阿
 11 46 10 ひきたまひつゝおふらぶひき給つふらぶ
 「磨滅」保さぶらぶ阿
 11 46 11 人々も人の中に阿

11 46 11 かにナシ阿
 11 46 11 ほのめきたるにほのめきたるには保
 11 46 11 御ことゝも御琴とも阿
 11 46 11 とり／＼にひかせてさま／＼にひかせ
 阿
 11 46 12 などにはいそかしくなとはいそかしくて
 阿
 11 46 13 ともナシ阿
 11 46 14 御ことのね御ことのねと保御琴を
 阿
 11 46 14 きかむときかなと阿
 11 46 14 とし年も阿
 11 46 14 まついかめしく阿
 11 47 01 せさせせさせせ保
 11 47 01 こちたきにいとこちたきに保
 11 47 01 ひんなくひなう保
 11 47 01 おほされておもほされて阿
 11 47 01 すこしほとすこしほとへ阿
 11 47 02 二月十日と二月廿日と保二月廿日を
 阿
 11 47 02 まいりつゝまて阿
 11 47 03 たえずたえずあり保阿
 11 47 03 このたいにたいの上阿
 11 47 03 する思聞え給へる阿
 11 47 03 御ことのね御琴の音阿
 11 47 04 ねもねに阿
 11 47 04 心みさせむこころみん阿
 11 47 04 上手とも上すとん保
 11 47 05 心しらひ御心しらひ阿

11 47 06 なければなければも阿
 11 47 06 なに事もなにことん保ナシ阿
 11 47 06 いかて心にしらぬこといかてか心しらぬ事
 阿
 11 47 07 思ひしかは思ひるは阿
 11 47 07 あるあひ阿
 11 47 07 たかきいへ／＼の名たかき家／＼阿
 11 47 08 とも／＼とも保ともを阿
 11 47 08 のこさすのこらす保
 11 47 08 中になかに保
 11 47 08 ふかくふかう阿
 11 47 08 おほゆるおもほゆる阿
 11 47 09 よりもより阿
 11 47 09 わかき人々わか人も阿
 11 47 09 すくすにすくす保
 11 47 10 なりにたるへしなりにたへかめり阿
 11 47 10 さらにまねぶ人なくなりたりとかこの御こ
 とのねはかりたにつたへたる人おさ／＼あら
 しとまねぶ人はさらにあらしなと阿
 11 47 11 たにに保
 11 47 11 なにこころなくなに心もなく阿
 11 47 12 ほとはかり阿
 11 47 12 なりにけるとなりにけるをわれながら
 阿
 11 47 12 おほすおもほす阿
 11 47 12 廿二はかり廿三のほと阿
 11 47 13 たまへと給へれと保給にけれと阿
 11 47 13 いとナシ保阿
 11 47 13 いみしくあやしく阿

11 47 13 かなりにきひはなるきひわなる保 かな
 りなる阿
 11 47 13 心ちしてさましてきひはに阿
 11 47 14 のみナシ阿
 11 47 14 へぬるへにける阿
 11 48 01 ようい ようひなと阿
 11 48 01 たまへと 給へなと阿
 11 48 02 たまふ 給に阿
 11 48 03 かくれなからまし かくれさらまし阿
 11 48 03 正月廿日許にむ月の廿日はかり阿
 11 48 04 ふきて 成て阿
 11 48 04 なりゆき なりゆく保 なり行阿
 11 48 05 おほかた こそゑ阿
 11 48 05 花の木とも はなのきとも保 花の木とも
 阿
 11 48 05 わたりにけり わたりにたるに保 わたれるに
 阿
 11 48 06 かきあはせ給はむ かき給はんほと阿
 11 48 06 御ことのね 御琴の音阿
 11 48 06 人 人も阿
 11 48 07 しむてんにしん殿へ阿
 11 48 07 わたし わたして保 わたひ阿
 11 48 08 物ゆかしかりて ものゆかしかりして保
 11 48 08 物ゆかしかりてまつのほらまほしかれと まつ
 のほりて物ゆかしかりする人おほかり阿
 11 48 09 給て 給て保
 11 48 09 すこし うち阿
 11 48 09 えりて えりととのへて阿
 11 48 11 くれなぬのうさたるさまもてなしすくれたる

11 48 12 なとも阿
 11 48 13 いとましくいとまじう阿
 11 48 13 よそおひとも よういとん保 よそひと
 阿
 11 49 01 きをきぬ阿
 11 49 01 あかしの御方は 明石の御方は阿
 11 49 02 あをし あをし(きい)保 あをぢ阿
 11 49 02 かきりにて かきりきて保
 11 49 02 あこめくくすく あこめもこぎすわう
 阿
 11 49 03 へくへきと阿
 11 49 04 ことにとのへ阿
 11 49 04 あをに あをに(は)は力保 あをにひ
 阿
 11 49 04 やなぎのかさみえひそめのおこめなと柳ゑ
 ひそめなとかさみ阿
 11 49 05 めつらしきさまにはめつらかには阿
 11 49 05 けはひの 御いきほひの阿
 11 49 06 いかめしくいかめしう保 めつらしく
 阿
 11 49 06 けたかき けたかき保
 11 49 06 こと 事は阿
 11 49 06 さへいと さはいへと保阿
 11 49 06 中のなかの保
 11 49 06 御さつし みさつし保阿
 11 49 07 はかりをけちめにてはかりへたてにて
 阿

11 49 08 よそひたり あり阿
 11 49 08 拍子あはせには ひやうしあはせに 削訂力
 保 ひやうしあはせには阿
 11 49 08 右のおほいとの みきのおほ殿保 右大將殿阿
 11 49 08 三ちう 四郎阿
 11 49 09 さつのふえ左大將の御たらつよこふえとふか
 せてさつの笛を吹給ふ左大將の太郎君よこ
 笛ふき給ふこの君たちをめし給て阿
 11 49 10 御たらつ 御たらつきみ保
 11 49 10 ならへて めして阿
 11 49 10 まいりわたす まいれり阿
 11 49 11 御ことも 御琴とも阿
 11 49 11 いれたる いられたるを保 いれたるを阿
 11 49 11 とりいて ひき出て阿
 11 49 12 むらさきのうへには んらさきのうへには
 保 紫上阿
 11 49 12 女御のきみ 女御君阿
 11 49 13 宮 女三宮阿
 11 49 13 ことノしきことノしきおとろノしき
 阿
 11 49 13 ことは 御ことには保 御琴は阿
 11 49 13 ひき ひきしつめ阿
 11 49 13 あやうくて あやうく阿
 11 49 13 てならして てならはし保
 11 49 14 ゆるふと ゆるつと保阿
 11 49 14 かく かう保
 11 50 01 つけて かけつ阿

11 50 01 よくかく阿
 11 50 02 心しらひしらへ阿
 11 50 02 えはりしつめしえははりしつめし保
 11 50 02 めしよせつへかめれめすへかめれ阿
 11 50 03 ふえふきともふふふきとん保
 11 50 03 拍子ひやうし保はうし阿
 11 50 04 大将 大将君阿
 11 50 04 御方ノはつかしく心つかひしておはすあか
 し君をはなちてはナシ阿
 11 50 04 はつかしくはつかしう保
 11 50 05 御心くはへて大将のきたまはむに御くは
 りて大将き給はんにも阿
 11 50 06 おほすおもほす阿
 11 50 06 きこしめすにもきこしめすに保
 11 50 07 給つればたまへれば保阿
 11 50 07 こそナシ阿
 11 50 08 事なくて中ノ女のたとりぬへけれ物なら
 て女のたとりぬへき物なれば阿
 11 50 08 春のさる物と保
 11 50 09 ものなるものゝね阿
 11 50 09 所もや所にや阿
 11 50 09 おほすおもほす阿
 11 50 10 いたくいたつ阿
 11 50 10 おまへの御前などの阿
 11 50 10 御ころみ心み阿
 11 50 11 ことにナシ阿
 11 50 11 おほえ給へはあさやかなる御なおしおほえ
 給ひければよきなをしに阿
 11 50 12 くれはて日くれ阿

11 50 13 そらにそら阿
 11 50 14 ゆるらかにゆるに保
 11 50 14 うちぶく風にうちぶきたる風につけても
 阿
 11 50 14 みすの内みすの日阿
 11 51 01 かほりもにほひ阿
 11 51 01 ふきあはせてふきあはせ保梅のかにふきあ
 はせて阿
 11 51 01 つまにまつまに保
 11 51 01 しつへくしつへき阿
 11 51 02 あたり御あたり阿
 11 51 02 すこしさいてゝいてきたり阿
 11 51 02 かるノしきかるノしき阿
 11 51 03 なれとこれをなれともこれを阿
 11 51 04 やうもなきをにもあらぬを阿
 11 51 04 たまはり給ほととのへ給程の阿
 11 51 05 いちこちてうのごゑいちこちてうをかきあ
 はせてひゞきのごゑ阿
 11 51 05 はつのを八のを保阿八はち阿
 11 51 05 ふともふとん保ふかくも阿
 11 51 06 許は手ひとつはかりにてひとつは阿
 11 51 06 のたまへの給阿
 11 51 07 なんなむむ二割訂力保
 11 51 07 侍ける侍阿
 11 51 08 女かくにえことませて女樂にはことませて
 阿
 11 51 09 つたはらむ名こそつたへなうそ阿
 11 51 10 はかりナシ阿
 11 51 10 たまひつつか阿

11 51 10 御むまこの君たち御まこの大夫たち阿
 11 51 10 とのゑすかたとも殿ゑすかた阿
 11 51 11 物の手とも物ゝねとも保物のね阿
 11 51 11 またわかかれとよはけれと阿
 11 51 11 ありて見えて阿
 11 51 12 御ことゝも御琴とも阿
 11 51 12 しらへともとのひはてしらへともと
 のへはて阿
 11 51 12 給へるほと給阿
 11 51 13 なかに中に保御中に阿
 11 51 13 上手めき上すめきて保
 11 51 13 てつかひこゑつき阿
 11 51 14 大将も大将保
 11 51 14 とゝめとめ阿
 11 52 01 御つまをとつまをと阿
 11 52 01 かきかへしひきかゑし保阿
 11 52 01 ねのねのこつひひ力保ねのしらへ
 とものこつきとも阿
 11 52 01 このナシ阿
 11 52 02 上手ともの上すとんの保上すとも阿
 11 52 02 おとろノしくおとろかしく保おとろノ
 しき物のね阿
 11 52 02 てつしにてつしにも阿
 11 52 02 にきはしくにきはしく阿
 11 52 03 ありけり有ける阿
 11 52 04 きこえて聞え阿
 11 52 04 おと御心おぢめておととの御心ぢぬ給て
 阿
 11 52 05 もりいするもりく(り)つ(る)保

11 52 06 うつくしけにうつくしく阿
 11 52 06 なまめかしくなまめかしく阿
 11 52 07 よくよう阿
 11 52 07 ひつきひひき保
 11 52 07 なりにけるなりける阿
 11 52 07 御ことのね御琴のね阿
 11 52 08 大将きゝ給大将もきゝおとろき給阿
 11 52 08 拍子ひやうし保はつじ阿
 11 52 08 あぶきうつちならしてへはゝ御あぶきうつちな
 らし阿
 11 52 09 いみしくナシ阿
 11 52 10 けそひてまてまして阿
 11 52 10 こゑいとこゑは阿
 11 52 10 夜のよの保世の阿
 11 52 10 なりゆくなりまさる阿
 11 52 11 なつかしきなつかしくなりまさる阿
 11 52 11 夜のよの保世の阿
 11 52 11 月も阿
 11 52 12 こなたあなたに掛けて火よきほとにこなた
 かなたほのかなるほとに阿
 11 52 12 給へれば給へは阿
 11 52 13 人より人よりは阿
 11 52 14 たゞいとあてやかにあてに阿
 11 52 14 二月の中十日二月なかの十日保二月十日
 阿
 11 53 01 したりはしめたらむしたりそめやさしくこ
 たる阿
 11 53 03 したりしたり御ことのぶくるたゞみてひき
 かへしたるにほとのちめさくおはじませは中

くさしやり給ほとんなくていとうつくしく
 みえ給保し給へり御琴のぶくるをたゞみて
 ひきかへしたるほとにちいさくおはじませは
 中くさしやり給ほとまなに心なくいとつ
 くしく見え給阿
 11 53 03 これこそはこれこそ阿
 11 53 03 人のナシ阿
 11 53 04 おなじやうなる御なまめきすかたのいますこ
 しにほひくはゝりて又ほひくはゝりてお
 なしやうなる御なまめきすかたの阿
 11 53 05 心にくゝよしあるよしあり心にくき阿
 11 53 05 さまけはひ保阿
 11 53 05 し給てして阿
 11 53 06 かたはらにかたはら阿
 11 53 06 ならふ花なきならふはなゝきやうにおほえ
 給へり保ならひなくおもほゆる阿
 11 53 06 あさほらけの心ちそし給へるナシ保
 11 53 07 なやましくいとなやましく保阿いとなやま
 しつ阿
 11 53 07 御ことも御ことん保御琴も阿
 11 53 07 おしかゝり給へりより給へる阿
 11 53 08 給へるに給へる阿
 11 53 09 みゆる見えける阿
 11 53 09 あはれけにおほしけるこつはいの哀なるし
 をん色の阿
 11 53 10 かゝりかゝりたるさまさはやかに阿
 11 53 10 きよらにていときよらからにて保きよらに
 阿
 11 53 11 うつくしけなるにうつくしけなり阿

11 53 12 うすくわうすわう阿
 11 53 12 こちたくナシ保阿
 11 53 12 ゆるらかにゆるやかに保
 11 53 13 おほきさなとよきほとによきほとのかなさ
 なる人の阿
 11 53 13 あたりにあたり保阿
 11 53 13 心ちして心して阿
 11 53 14 花といはゝくらにはなといはゝかすみの
 中のかはゝくらに保
 11 54 01 御あたり御あたりとも阿
 11 54 01 いと又阿
 11 54 01 などとは保などの阿
 11 54 01 けしきはみはつかしく心のそこゆかしきさま
 してそこはかとなくあてにナシ阿
 11 54 02 なまめかしくなまめかしくそ阿
 11 54 03 みゆおほゆる保おほゆる阿
 11 54 03 ほそなかにほそなか阿
 11 54 03 こうちきゝてこうちきにもつすきに阿
 11 54 03 ものはかなげなるものはかなげなるを保花
 やかならすはかなげなる阿
 11 54 04 ひきかけてひきかけ給へり阿
 11 54 04 ことさらことさらに保阿
 11 54 04 思ひなしもおもひなし保
 11 54 05 あをちのにしきのはしなしたるしとねにまほ
 にもめてひはきうちをきてあをちをき給へ
 り阿
 11 54 06 たをやかにたをやかにたをやかに保
 11 54 06 つかひなしたるつかひなしたるてノ上カラ
 たヲ書ク保

11 54 07 なつかしくてなつかしうて阿
 11 54 08 花たちはなのはなたちはな阿
 11 54 08 をしおれるをし折たらん阿
 11 54 08 かほりかをりも保かほりに阿
 11 54 08 おほゆおもほゆ阿
 11 54 08 うちとけぬうちとけたらぬ阿
 11 54 09 大将も大将保大将は阿
 11 54 09 ゆかしくゆゆかしく保
 11 54 09 おほえ給おもほえて阿
 11 54 10 たまへらむ給つらん阿
 11 54 10 ゆかしきいとゆかしき保阿
 11 54 10 いますこの今すこし阿
 11 54 11 ぬるきぞぬるきぞ保ぬるきは阿
 11 54 11 くやしきやナシ保くやしこそ阿
 11 54 12 たひノさやうにおもむけてさやうにおも
 むけてたひノ阿
 11 54 12 しりう事にもしるうことにも阿
 11 54 12 のたまはせけるをとのたまはせけるを
 保の給けるを阿
 11 54 12 思へとおもへと保おもほえければ阿
 11 54 13 きこゆとは聞え給とは阿
 11 54 14 心は心阿
 11 54 14 この御方をはこの御かたをはこの御かたを
 は保
 11 54 14 なにこともなにことん保
 11 54 14 をよふへきかたなくけとをくてをよふへく
 もあらずけとをく阿
 11 55 01 おほかたに御かたにも阿

11 55 01 さまをもさまに阿
 11 55 01 みえみせ保
 11 55 02 あるましくナシ阿
 11 55 03 心ち心保阿
 11 55 03 給へりたり阿
 11 55 03 夜よ保
 11 55 04 さしいてたるさしいてたり保阿
 11 55 04 おほる月よおほる月夜に阿
 11 55 05 秋のあはれはたあきのあはれをにはた保秋
 の月のあはれはた阿
 11 55 05 かうやうなるかふやうなる保かうやうの
 阿
 11 55 05 あはせたるあはせたり阿
 11 55 06 そふそふる阿
 11 55 06 大将の君大将君阿
 11 55 06 秋のよの秋の夜の阿
 11 55 07 とこほりなきにことぶえのねもあきらかに
 すめる心ちはし侍れとなをとこほりなく
 阿
 11 55 07 心ちは心地保
 11 55 08 つゆにも露も阿
 11 55 09 ちりてうつりて阿
 11 55 09 そらのそら保
 11 55 10 月かけ月の影阿
 11 55 10 いかてかいかて阿
 11 55 10 なともなとん保
 11 55 11 えむにえ保ナシ阿
 11 55 11 すみのほりはすなむすみのほりはへらす
 なむ保すみのほり侍らん阿

11 55 11 あはれふとあはれむといふこと阿
 11 55 11 いひをき侍けるけにさなむいひをけるわざ
 なん阿
 11 55 12 ものゝもの保物のね阿
 11 55 12 とゝのほるとゝのふる阿
 11 55 13 さためよさため保阿
 11 55 14 人の人の心阿
 11 55 14 えあきらめはつましくこそえあきらめは
 つまし保えあきらめわくましき阿
 11 55 14 ものゝしらへ物のしらへにくて阿
 11 55 14 こくのものともはこへくものものともは
 保くものものは阿
 11 56 01 ありかしありしか阿
 11 56 02 たゝいまたゝいまの保阿
 11 56 02 いうそくいふそくの保いうそくと阿
 11 56 02 おほえたかきおほえたるき阿
 11 56 02 かの人かの人保阿
 11 56 02 御前おまへ保御まへ阿
 11 56 02 にてにても阿
 11 56 03 なりためるなりにためる保なりにためる
 阿
 11 56 03 いくはくナシ阿
 11 56 04 えまねひとらぬえまねひとめぬ阿
 11 56 04 あらむナシ阿
 11 56 04 ほのかなるかくほのかなる保かたほのかな
 る阿
 11 56 04 女たち女房たち阿
 11 56 05 きはなるへくきはなかるへく保

11 56 05 おほえねあらね阿
 11 56 05 すくすにすくす阿
 11 56 05 なともなとん保
 11 56 06 くちおしうくちおしう 削訂力保
 11 56 06 あやしくあやしう阿
 11 56 06 さえさえに阿
 11 56 07 ことゝもゝことん保阿 事も阿
 11 56 07 まさるところなるまさるところ ことなる
 保
 11 56 07 御前をまへ保
 11 56 08 それかれといかにそとの給へはこれかれい
 かにそなの給阿
 11 56 09 とり申さむと思ひ侍りつれとあきらかなら
 めとり申さむと思給ふれとあらはならぬ阿
 11 56 10 思給ふるおもふ給ふる保 思給に阿
 11 56 10 侍らねはにやはへらねはにや保侍らねは
 や阿
 11 56 10 衛門督 象もんのかみ保
 11 56 10 兵部卿 兵部卿の宮保
 11 56 11 なとをこそなとこそは阿
 11 56 11 めつらかなるめつらしき保阿
 11 56 11 ためしにためしには阿
 11 56 11 侍めれけにはへめるに保侍れけに阿
 11 56 12 ものゝねともの物ゝねとんの保物のねとも
 阿
 11 56 12 みゝみゝの阿
 11 56 12 侍は侍を阿
 11 56 13 わさとまあらぬわさとならぬ阿

11 56 13 御あそひと御遊とも阿
 11 56 13 思給へたゆみけるおもふ給へたゆみける
 保 思ひたゆみける阿
 11 56 14 つかうまつりつかまつり保
 11 57 01 こしらへししらへ阿
 11 57 01 ものし給へ物し給を阿
 11 57 02 侍へめるをはへるを保阿
 11 57 02 侍りつれナシ阿
 11 57 03 さことゝしきゝはことゝしき物阿
 11 57 03 うるはしくもうるわしく保
 11 57 04 とりなざるゝはんしなざるゝ保阿
 11 57 05 弟子ともてしとん保
 11 57 05 かしナシ阿
 11 57 05 こゝにナシ保
 11 57 05 くちいるへきくちいるゝ保阿
 11 57 05 ことましらぬをこともしらぬを阿
 11 57 05 さいへとさはいへとん保さこそいへまた阿
 11 57 06 ことなるへしことふし阿
 11 57 06 所にてとゝころに保
 11 57 06 はしめたりしにはしめたりし時阿
 11 57 07 おほえしかとおもほえしかと阿
 11 57 07 おりよりはおりより阿
 11 57 07 こよなくこよなう阿
 11 57 07 まさりにたるまさりわたる阿
 11 57 08 かこちかたり阿
 11 57 08 などはなと保
 11 57 08 すこしナシ阿
 11 57 09 いつれもいつれと阿

11 57 09 きはなくきはなう阿
 11 57 09 おほえつゝおもほえつゝ阿
 11 57 09 心ちに心にあさくならず阿
 11 57 10 あくへきあく保阿
 11 57 10 かきりなくかきり阿
 11 57 10 事ナシ阿
 11 57 11 人の人阿
 11 57 11 まねひえたらむまねひたらむ保阿
 11 57 12 人ナシ阿
 11 57 12 かたかたに方に阿
 11 57 12 琴きむ保
 11 57 12 わつらはしくわつらはしう阿
 11 57 13 物は物には阿
 11 57 13 このことはナシ阿
 11 57 13 あとのまゝにたつねとりたるありのまゝた
 とりたる阿
 11 57 14 天地をあめつちを阿
 11 57 14 おに神の心 鬼神阿
 11 57 14 ものゝねのうちに物のねからに阿
 11 57 14 かなしひふかきかなしみふかき阿
 11 58 01 かはりかならずかはる阿
 11 58 01 たかき世にあらたまりたからにあつかり世
 にたかひにあらたまりてうちゆるひたるも
 阿
 11 58 02 おほかりけりありけり保あまたありける
 阿
 11 58 02 ひきつたふるひき伝へはしめける阿
 11 58 03 はしめつかたはしめつかた 磨滅ヲ推読
 保

11 58 03 事を事に阿
 11 58 03 心えたる心え「磨滅」保
 11 58 03 人は人阿
 11 58 03 くに、国にて阿
 11 58 04 すこし「磨滅」推読「保
 11 58 04 まねひとむまねはん阿
 11 58 04 しうるはかたくなむしる事はすくなく
 阿
 11 58 05 はたしか阿
 11 58 06 ふらせ「ふらせて」阿
 11 58 06 かもナシ阿
 11 58 06 さはかしたるさはかひたる阿
 11 58 06 ためしあかりたる世にはありけり事ありて
 後はためし有ける阿
 11 58 07 ならひとる人のならへる人も阿
 11 58 07 世のすゑ成行すゑの世阿
 11 58 07 によナシ保阿
 11 58 07 いつこいつこいつくヲ削ッテにヲ書ク「保
 阿
 11 58 08 かはしかたはら阿
 11 58 08 されとなをかのおに神のさるをこの鬼神も
 阿
 11 58 09 そめにけるそめにけるきヲ削ッテにヲ書ク「
 保そめにし」阿
 11 58 09 なま／＼にさま／＼に阿
 11 58 10 よからすとかよからすと保阿
 11 58 10 いふなむをつけていふなをつけて保「いひつ
 けて」阿

11 58 10 ま／＼にいまはおさ／＼つたふる人なしとかい
 とくちおしきナシ阿
 11 58 11 なにことをかものをと／＼のへしる／＼へとは
 せむ何事にかは又物のねをと／＼のへらるゝ
 はあらん阿
 11 58 12 おとろふるおとふる保おとろへる阿
 11 58 12 さまはやすくなりゆく世の中にさまには成
 行は阿
 11 58 13 はなれてはなれ阿
 11 58 13 この世にナシ阿
 11 58 14 おやこおや阿
 11 58 14 はなれむわかれむ保わかれまとひありかん
 阿
 11 58 14 なとかなにか阿
 11 59 01 なをナシ阿
 11 59 01 する阿
 11 59 01 はしをはかたはしを阿
 11 59 01 しりをかさらむしをかさらむりヲ削ッテか
 ヲ書ク「保
 11 59 02 たにたにも阿
 11 59 02 なりなり保阿
 11 59 03 こく／＼の物保阿
 11 59 03 さかりにはさかりは保
 11 59 03 世にありとありこ／＼につたはりたるふといふ
 ものゝかきりをよきとありし身につたはり
 きたるかきりのふといふ物を阿
 11 59 05 すへきいふへき阿
 11 59 05 このみならひしかと此みならひしること
 阿

11 59 05 人には世の人には阿
 11 59 06 ましてまいて阿
 11 59 06 このうちこのつき阿
 11 59 06 なきなし阿
 11 59 07 大将 大将も阿
 11 59 07 いとナシ阿
 11 59 07 おほすおもほす阿
 11 59 07 御子たちみこたち保阿
 11 59 08 そもさまでもしさやうに保もしさまでも
 阿
 11 59 09 たてまつるへき奉るへきに阿
 11 59 09 二宮 一の宮保阿
 11 59 11 御ことをは御ことは阿
 11 59 12 あつまをあつまは阿
 11 59 12 御まへをまへ保阿
 11 59 13 おと／＼おと／＼も阿
 11 59 13 御こゑこゑ阿
 11 59 14 あいきやうつきあいつきて保阿
 11 60 02 なつかしくなつかしう阿
 11 60 02 いみしくいみしう阿
 11 60 02 ゆる／＼かにゆるらかに阿
 11 60 04 あいきやうつきてあいつきて保阿
 11 60 04 りむの手りんちその右 ヲ削ッテにヲ書ク「
 保りんの事」阿
 11 60 05 かへりこゑかへるこゑ保
 11 60 06 なつかしくなつかしう保阿
 11 60 06 いまめきたるにいまめき保
 11 60 06 手てとも阿
 11 60 06 なかに中に保

11 60 07 はち 保
 11 60 08 春秋 春秋の保 春にも秋にも阿
 11 60 09 心しらひ 心阿
 11 60 09 たかへす たかはす保
 11 60 10 うつくしくおもた しく うつくしくおもた
 >しく保
 11 60 10 きみたち きむたち保
 11 60 10 うつくしくふきたて しく うつくしくふきたて
 >保阿
 11 60 11 なりにたらむに なりにたらん保
 11 60 12 こよひ 今夜阿
 11 60 12 なかくは なかうは阿
 11 60 12 あらてはつかなるほとにと思ひつるをとめ
 かたき あらぬほとに侍るへく思入るをとめ
 かたき阿
 11 60 13 いつれとも ひとつれと保阿
 11 60 13 ほとのほと阿
 11 60 14 心地保阿
 11 60 14 なりやとて なりやとて阿 先出や八補入カ
 保なりけりやとて阿
 11 60 14 きみに 君も阿
 11 60 14 さし給てさして阿
 11 60 01 よこふえのきみにはこなたよりをりものほ
 そなかにはかまなとこと しく しくからぬさまに
 けしきはかりにて ナシ阿
 11 60 01 ほそなかに ほそなか保
 11 60 02 大将の君 大将君阿
 11 60 03 宮の 宮阿
 11 60 03 かつけたてまつり えならてかつけ阿

11 61 03 給を 給保阿
 11 61 03 おと あやしや 大将殿の若君にはこなたよ
 りほそなかはかまなとこと しく あらてみ
 なけしきはかりにほはし給おと あやしのこ
 とや阿
 11 61 04 師を しも阿
 11 61 04 まつは まつ阿
 11 61 04 給はめ 給へけれ阿
 11 61 04 宮の ナシ保
 11 61 05 とり 給 ナシ阿
 11 61 06 なり なりけりとて阿
 11 61 06 給へは 給に阿
 11 61 07 もちたまへる もたまへる保阿
 11 61 07 いみしく ナシ阿
 11 61 07 ふきたて 給へるか ふきあはせ給へるか保ふ
 きあはせたる阿
 11 61 08 いとめてたくきこゆれば ナシ阿
 11 61 08 みな ナシ阿
 11 61 08 もの 物阿
 11 61 09 になく になう保
 11 61 09 程ありかたく ほとは阿
 11 61 09 おほし おもほし阿
 11 61 09 大将殿 大将保阿
 11 61 10 きみたち きんたち阿
 11 61 11 ねも ねとも阿
 11 61 11 おほえたまふ おほゆ阿
 11 61 11 わか北の方は故大宮のをしへきこえ給しかと
 心にもしめ給はさりしほとにわかれたてまつ
 りたまひにしかはゆるかにもひきとりたま

はておと君の御まへにてははちてくらにひ
 きたまはす わか御北方は宮のをしへ奉り給し
 かはいくはくの御心にもしめ給はす阿
 11 61 14 なにこども なにこども保
 11 61 14 うちをほときたる うちおほとかなる阿
 11 61 14 さまして 人のにくからすされたるさまして
 保人のにくからぬさまにて阿
 11 62 01 こともあつかひを こともあつかひを保こ
 ともあつかひ阿
 11 62 01 いとまなくつき しく しく つき しく いとまな
 くして物し阿
 11 62 01 おほゆ おほす保 おもほえ阿
 11 62 02 ものねたみ 物ねたみなと阿
 11 62 02 うちしたる うちしたるも保 うちし給へと
 阿
 11 62 02 うつくしき人さまにそものし給めるおかし
 きさまにて物し給ける阿
 11 62 03 とまり給て とまりて保
 11 62 03 宮にも 宮に保阿
 11 62 04 たまひて 給阿
 11 62 04 給へる 給にけるに阿
 11 62 04 たかう たかく阿
 11 62 04 おほとのもれり 御とのこもれり保 御との
 こもりたまへり阿
 11 62 05 御ことのね 御琴の音阿
 11 62 05 うるさく うるせく保
 11 62 05 なりにけり なりにたりな保阿
 11 62 05 給し 給つ阿
 11 62 06 あなたにて ほのかにあなたにて阿

11 62 06 ほのきよしはほのかにきよしは保きよしは

阿

11 62 06 こよなくなりけりよくなり給にけり

阿

11 62 07 かくかう保阿

11 62 07 こと事なくことなく阿

11 62 07 たまはむにはいむへ給けりこそ阿

11 62 08 てをとる／＼おほな／＼阿

11 62 08 うるさくわつははへてかろつわつははし

き阿

11 62 09 おしへさむにをしへ阿

11 62 09 院にも院とも阿

11 62 09 琴きむ保阿

11 62 10 さりともならはしきこぬらむならひとり給

ぬらん阿

11 62 10 きくかきよしに阿

11 62 10 さりともナシ保阿

11 62 11 たにこそ阿

11 62 11 かくかう阿

11 62 11 御うしろみにとあつけ御うしろみにつけ

阿

11 62 11 するいはしめるにや阿

11 62 12 なむナシ阿

11 62 12 ほとをほと保御ほとを阿

11 62 13 その世にはそのよは保

11 62 13 ありかたなくてなく阿

11 62 13 のとかにのとならて阿

11 62 13 とりわきとりわきて削ッテと書クカ

保

11 62 13 事なともなくこともなく保事もなくて

阿

11 62 14 ちかき世にもなにとなくつきよまきれつ

すくしてつきよまきれすくしつ今ち

かき比となりてはわざとも阿

11 63 01 御ことのねの夢のねのいとかしこく阿

11 63 01 めむほくめいほく阿

11 63 02 けしきもけしきなりしも阿

11 63 02 すちもすちにも阿

11 63 03 いまは又いまはた保又いまは阿

11 63 03 おとなしくおとなしくおとなしくかたに

阿

11 63 03 御あつかひなとよりもちてあつかひなとよ

りもちて阿

11 63 04 もとかしくもとかしう保

11 63 05 かくかう保かうしもあまり阿

11 63 05 ひさしからぬためしもあるをなからす

もあるを阿

11 63 06 さまなる人のありさまをみあつめたまふ

まにとりあつめたらひたることはまことに

たくひあらしとのみ思ひきこえ給へりナシ

阿

11 63 08 なり給成給ける阿

11 63 08 みたてまつり給し見奉り給そめし阿

11 63 08 なとナシ阿

11 63 09 なとなとはしはしは阿

11 63 09 とりわきてことしはナシ阿

11 63 10 ものさはかしく物さはかき事阿

11 63 10 事もことん保

11 63 10 猶御心には阿

11 63 12 うちのまむにも打頼むも阿

11 63 13 いとナシ阿

11 63 13 のたまひいつの給つ阿

11 63 14 さまにてこと／＼しく身にて阿

11 63 14 いまの世のおほえ今の世におほえもきえか

たき阿

11 63 14 ありさまきかたにナシ阿

11 63 14 ありさまありさま保

11 64 01 かた事阿

11 64 01 人にはまさりけり人にかくすくれたりし

阿

11 64 02 思ふ人にさま／＼をくれのこりとまれるよは

ひの哀と思へき人々さま／＼につけてをく

れとまる人の阿

11 64 03 つけてもつけて保

11 64 04 ものおもはしく思はしき事阿

11 64 04 こそそひたるナシ阿

11 64 05 いまてもいまて阿

11 64 05 君の御身には御事は阿

11 64 06 こなたこなたの阿

11 64 06 とてとても阿

11 64 06 心みたり給心みたれ給保

11 64 07 いひいへと阿

11 64 07 それよりナシ阿

11 64 07 つき／＼はやむことなき人といへとみなつ

き／＼の人はやんことなしといへとも女は

阿

11 64 08 かならずかならず保

11 64 08 わざ ナシ阿
 11 64 08 ましらひに ましらひするに阿
 11 64 09 思ひの 思ひつねに阿
 11 64 09 やすけなきをおやの やすけなきおほやけの
 保
 11 64 10 すくしたまへる すくいたてまつることの
 阿
 11 64 10 ことはなし かは阿
 11 64 10 その方 そのかは保 ナシ阿
 11 64 10 すくれたりける まさりける 保 まさる
 阿
 11 64 10 すくせとはおほしるや思ひのほかにてすくせ
 とおほえたる世おもはきりしほとに阿
 11 64 11 ものし給へるこそは物しておはするこそは
 阿
 11 64 12 へけれとへけれとも阿
 11 64 12 つけてはいとくはぶる心ましのほとを御身
 つからうつなれば つけてこそは御おほえを
 くはぶる心あれとみつからのつ入にて阿
 11 64 13 心も 心保
 11 64 13 給めれば 給ぬれば阿
 11 64 14 物 ナシ阿
 11 64 14 おほえはあらめとおほえなから阿
 11 65 01 さは さは阿
 11 65 02 なりける なりけり阿
 11 65 02 はつかしけ なつかしけ阿
 11 65 02 まめやかに はまめやかに阿
 11 65 02 ゆくさき ゆくすゑ阿
 11 65 03 心ち 心ちのみ阿

11 65 03 ことしも ことし保
 11 65 03 かく かくて阿
 11 65 03 すくすは すくす阿
 11 65 04 こそこそおほえ待れ阿
 11 65 04 さきノも さきノ保
 11 65 04 いかてなをいかて保
 11 65 04 あらはあらなん阿
 11 65 04 それは これは保
 11 65 05 事 御事阿
 11 65 05 かひかあらむたノかくなとなくてすくる年
 月かひかは有へきかくて何ともなくてすく
 る月日阿
 11 65 07 なく なくは阿
 11 65 07 おほゆれ おもほゆれ阿
 11 65 07 思ふさまことなるを つから思ふさまある
 阿
 11 65 07 給へとのみきこえ給を 給はるときこえ給て
 阿
 11 65 08 ことノこと阿
 11 65 08 心やましくてなみたくみたまへるけしきを心
 やましくなみたくまじき御けしきも阿
 11 65 08 あはれに あはれと保阿
 11 65 09 よろつに 万阿
 11 65 09 あらねと みねと阿
 11 65 09 ありさまの 有さま阿
 11 65 10 くちおしくはあらぬを くちおしからぬかた
 ノノ阿
 11 65 10 こころはせ 心はせの阿
 11 65 11 おちあたる おちい給へるかた阿

11 65 11 わざ 物阿
 11 65 11 はてにたる はてわたる阿
 11 65 13 よからす よからぬ阿
 11 65 13 こそこそは保を阿
 11 65 13 いとおしくいとおしくも阿
 11 65 14 あれ ナシ阿
 11 65 14 あやまちにのみもあやまちには阿
 11 65 14 づるはしくづるはしく阿
 11 66 01 ことの 事阿
 11 66 01 おほゆる おもほゆる阿
 11 66 01 事も ことん保
 11 66 01 なかりき おほえさりしを阿
 11 66 02 すくノしく すくノしく阿
 11 66 02 けむとけむと 保けん阿
 11 66 03 たのもしく たのもしく保
 11 66 03 人さま 人のさま保
 11 66 04 さまことに 又はまことに阿
 11 66 04 人ノこと人阿
 11 66 05 くるしかりしさまになんありしうらむ入きふ
 しそけにことわりとおほゆるふしをやかてな
 かくおもひつめてふかくゑんせられしこそい
 とナシ阿
 11 66 05 さまに 心さまに保
 11 66 05 ふしそ ふしは保
 11 66 06 ゑんせられし ゑんせられし 思しヲ削ツテゑ
 んヲ書ク力保
 11 66 07 うちたゆみ うちたのみ保
 11 66 07 あさゆふの 朝夕に阿

11 66 08 いとつゝましき所のありしかはいたくつく
 ろひし所のありしを阿
 11 66 08 みおとさるゝ事や見やをとさるらん心そ
 ひ阿
 11 66 08 などと保などして阿
 11 66 08 あまりナシ保
 11 66 09 へたたりしへたたりし保
 11 66 09 いとあるましき名をたちて身のあはしく
 くなりぬるなけきをいみしく思ひしめ給へ
 りしかいとおしくけに人からおもひしも我
 つみある心ちしてやみにしなくさめにされ
 とその人からおもひしにも又名にたちての
 ちのあはしくなりぬるなけきをいみしう
 し給へりしかいとおしくことほりなりしかは
 阿
 11 66 09 たちてたてゝ保
 11 66 09 あはしくあわしく ヲ削ッテわヲ
 書ク保
 11 66 10 いみしくいみしう保
 11 66 10 思ひしめ給へりしかし給へりしかとは保
 11 66 11 御契とは御ちきりと保阿
 11 66 12 いひなからいひなからも保
 11 66 12 とりたてゝ世のとりたてよその阿
 11 66 13 すさひすさみ保
 11 66 14 事もことん保事阿
 11 66 14 御つ入すことつゝ上をもすこと阿
 11 67 01 御つゝるみはなに許のほどならずとつゝるみ
 はわつらはしかるべきほどならぬに阿

11 67 02 おもひしおもほえし阿
 11 67 02 そこそこは阿
 11 67 02 人になひき人からなひき阿
 11 67 03 みえなからもてなしなから阿
 11 67 03 したにたに阿
 11 67 04 こと人はいとようおもほしわきてけり人は
 阿
 11 67 04 まほまを保
 11 67 05 心はつかしきありさましるきをわつらはし
 きけしきにて阿
 11 67 06 いかみ給らん見をとひ給らん阿
 11 67 07 おほしゆるすらんとのみ思ひてなむと思ゆ
 るすなんと思なしてなと阿
 11 67 07 めさましと心をき給へりしめさましきと心
 をいたまつりし阿
 11 67 08 人をを保
 11 67 08 いまは今阿
 11 67 08 ゆるしてナシ阿
 11 67 09 御ための御ため保ための阿
 11 67 09 おほすにいとおほとかに阿
 11 67 10 人に人阿
 11 67 10 よくよう阿
 11 67 10 心つかひは心つかひ阿
 11 67 11 ことこそは阿
 11 67 11 御ありさま御心さま阿
 11 67 11 人は人保
 11 67 11 けりけれ阿
 11 67 12 きこえ給宮にの給宮の阿
 11 67 12 よくよう保阿

11 67 12 ことのナシ阿
 11 67 13 給ぬ給阿
 11 67 13 おほしたゝすおほしたらす保思ひたゝす阿
 11 67 14 いたくいたう阿
 11 67 14 心を阿
 11 68 01 ゆるしていたつゆるひ給て阿
 11 68 01 物の師は心ゆかせてこそいとくるしかりつる
 日ころのしるしありて物のしをは心ゆるは
 せてこそならふなれといと阿
 11 68 02 御ことゝも御琴とも阿
 11 68 02 おほとこのこもりぬ御とのこもりぬ阿
 11 68 03 夜はよは保
 11 68 04 などよませてきく給かくせさせ給てきく給
 て阿
 11 68 04 たとひためし保たとへ阿
 11 68 04 むかしかたりとも昔物かたり阿
 11 68 05 いひあつめたるにもいひあつめたれと
 阿
 11 68 06 うきてもうきて保
 11 68 06 すくしつるすきぬへかめる阿
 11 68 07 のたまひつるあのを給へる保阿
 11 68 08 身にてや身にて阿
 11 68 08 すらんすらんと阿
 11 68 09 あるかなとありけるかなと阿
 11 68 09 夜ふけてナシ保阿
 11 68 09 おほとこのこもりぬるうち御とのこもりぬ
 阿
 11 68 10 御むねをなやみむねをやみ保阿

11 68 10 給 給けるを阿
 11 68 10 御せうそく御せうそく保
 11 68 10 きこえさせむきこえん保阿
 11 68 11 きこゆるをきこゆれと阿
 11 68 11 ひんないひなき保阿ひんなき阿
 11 68 11 ことゝ事とて阿
 11 68 11 たへかたきをおさへていみしくいたきねん
 して阿
 11 68 11 たまふつ 給つ阿
 11 68 12 御身 み保
 11 68 12 いと ナシ阿
 11 68 12 かくなむともなとも阿
 11 68 13 きこえす きこえ給はず保
 11 68 13 御せうそく御せうそく保阿
 11 68 13 なむと となと保阿
 11 68 14 そなた あなた阿
 11 68 14 たまへるに 給へりけるに保 給へるにうちさ
 はきて阿
 11 68 14 つぶれて つぶれ給て保 うちつぶれて
 阿
 11 69 01 いとくるしけにておはず おとろぎて阿
 11 69 01 たてまつり給へは 給へるに阿
 11 69 02 なとおほしあはせ などの事思あはせられ
 阿
 11 69 03 御かゆなごなたにまいらせたれと 御かゆな
 ともいそいなたにそまいりすへたる阿
 11 69 04 ひんとひ日ひとひ阿
 11 69 05 いと ナシ保
 11 69 05 給て 給へはまいて阿

11 69 06 御いのり 御すほう阿
 11 69 06 かすしらす ナシ阿
 11 69 06 はしめさせ給はしめさせたまひ保
 11 69 06 そうめして御かちなとせさせ給そこ所ともな
 くいみしくけんさとめしてかちまいらせ
 給その事となくいと阿
 11 69 07 給て 給阿
 11 69 07 おこりつゝをこり給つゝ保をこりて阿
 11 69 07 さまたへかたくくるしけなり 事日ころへぬ
 阿
 11 69 08 御つゝしみ御つゝしみとも阿
 11 69 09 をのつから ナシ阿
 11 69 09 あらは あるは保阿
 11 69 10 みたてまつり給てこと事見奉りつゝことゝ
 も阿
 11 69 10 おほされねはおほしめされねは保 おほしめ
 されすなけかれて阿
 11 69 11 かの院よりも 院より阿
 11 69 11 給物し給阿
 11 69 11 御とぶらひいとねんころにいとねん比に御
 とぶらひ阿
 11 69 11 いと いと保
 11 69 12 きこえ給也阿
 11 69 12 二月三月阿
 11 69 12 おほしなきて心みにおほしさはきて
 阿
 11 69 13 かへかへさせ保
 11 69 13 給はむ 給て心みん阿
 11 69 13 二条院 二条の院保

11 69 13 給ひつゝたまふ保
 11 69 14 人おほかり冷泉院もきこしめしなけくナシ
 阿
 11 69 14 冷泉院 れせい院保
 11 69 14 たまはゝ 給なは阿
 11 70 01 そむくそむき阿
 11 70 01 たまひてむ 給なん阿
 11 70 01 大将の君なとも心をつくしてみたてまつりあ
 つかひ給て 大将君も心くるしく思あつかひ
 聞え給へは阿
 11 70 01 なとも となと保
 11 70 02 みすほうなどは 御すほうなとも阿
 11 70 02 おほかたのをはおほかたのは保 ナシ
 阿
 11 70 02 さる物にてとりわきてとりゝにあつまり
 てそ阿
 11 70 02 つかうまつらせ つかうまつらせ保 つかうまつ
 り阿
 11 70 03 おほしわくおほえ給保阿
 11 70 03 きこゆる たゝきこゆる保
 11 70 04 かきりありてわかればて かきりにてわかれ
 聞え阿
 11 70 04 わか心とやつして給はむ御ありさまをみて
 はさらにかた時たふましくのみおしくかなし
 かる入ければさまかはり給はんをあかすい
 みしくおほさるれば阿
 11 70 05 たふましくあるましく保
 11 70 06 みつからそかゝるほいふかきをとまりてみ
 つからこそおもひわたる事なれとゝまり給て

阿

11 70-06 おほされん心くるしきにひかれつゝすく
すをおほえ給はんことのみ思すくしつゝ

阿

11 70-07 うちすてたまはむとやおほすこのみおしき
こえ給にけにいとたのみかたけによはりつゝ
かきりのさまにみえ給おり／＼おほかるをい
かさまにせむとおほしまとひつゝ宮の御方に
もうち捨られ給てつるにいみしきめを見る
へき事とおほしまとはるれは宮の御方などに
も阿

11 70-07 たまはむ給てむ保

11 70-08 よはりつゝよはり給つゝ保

11 70-10 あからさまにあからさまにも保たえて

阿

11 70-10 御ことゝもすさましくてみな御琴ともゝす

さましく阿

11 70-10 ひきこめられひきこめられにたり保ひきこ

められたり阿

11 70-11 人々人保阿

11 70-11 二条院に二条の院に保二条院にのみ

阿

11 70-11 けちたるうちけちたる保阿

11 70-12 女御のきみ女御君阿

11 70-13 もろともにもろとんに保

11 70-13 あつかひなけき阿

11 70-13 物のけなごと御物のけとも阿

11 70-14 はやくはや保はやう阿

11 70-14 まいりわたり阿

11 70-14 御心地御心地保

11 71-01 といみしく阿

11 71-01 うつくしうてうつくしくて保阿

11 71-01 おはしますおはする阿

11 71-01 いみしくなき給てナシ阿

11 71-02 たまはむを給はんも保

11 71-02 みたてまつらすなりなむことみ奉るましき

にやあらんと阿

11 71-03 女御女御も阿

11 71-03 おほしたりおもほひたり阿

11 71-03 おほしそおほしなけきそ阿

11 71-04 ものし給はしおはせし阿

11 71-04 あるをきてあるをかく保ある事のみとお

きてかく阿

11 71-05 なりてもなりて阿

11 71-05 ゆたかにナシ保

11 71-06 をくれをくれて阿

11 71-06 心ぬるくぬるく保心阿

11 71-07 人はなきたためしなむおほかりけるかうさ

まの人はみななきたためしにのみなん有ける

阿

11 71-08 かるきさまかるき事そのさま阿

11 71-08 みす法のあさりたちよぬなにてもちかくさ

ふらぶかきりのやむことなきそつなともち

かくよひにも侍らぬみすほうあさりたちも

阿

11 71-09 かきりのかきりは保

11 71-09 いかくおほしまとへるいかくおほしま
とひたる保おほしきはく阿

11 71-09 御けはひ御けはひとも保阿

11 71-10 きくにいときくは阿

11 71-10 いみしくいみしく保いみじう阿

11 71-10 心くるしければナシ阿

11 71-10 すこしよろしきさまにみえ給時五六日つちま

せつゝひま有て見え給とき十日はかりうち

ませなとしつゝ阿

11 71-12 へ給は猶いかにおはすへきにかよかるましき

御心ちにやふる世さへ給はんをえよかる

ましく物し給なめり阿

11 71-12 おほしおもほし阿

11 71-13 いひていてくるいてくること阿

11 71-13 そこはかとおみえすたゝひにそへてよはり給さ

まにのみゆれはいとも／＼かなしくいみし

くそこはかとなくいみしとのみ阿

11 71-14 いとも／＼いとん／＼保

11 72-01 御心のいとまも心のいとま阿

11 72-01 衛門督ゑもんのかみ保

11 72-01 中納言に中納言保

11 72-01 御世にはいと世にはいと阿

11 72-02 いと時の人也ナシ阿

11 72-03 御あねの御あね阿

11 72-03 二宮二の宮保

11 72-03 えたてまつりてけるえたてまつりける保

阿

11 72-04 心やすきなま心やすき阿

11 72-06 かた御かた保

11 72-06 なをふかゝりけれふかゝりければ阿

11 72 06 をはすてにて人めにとかめらるましきはか
 りにおりはおはす人めとかめらるましく
 阿
 11 72 07 給へり給て阿
 11 72 07 したの心したの心は保阿
 11 72 07 わすられず忘れはて給はて阿
 11 72 08 御侍従のめのと御めのと阿
 11 72 09 あねそかのあねは阿
 11 72 09 御めのとめのと阿
 11 72 09 たてまつりて給て阿
 11 72 10 宮宮の保阿
 11 72 10 時おり阿
 11 72 11 かしつきたてまつり御がしつき聞え阿
 11 72 11 きをききをひ阿
 11 72 12 おはしますおはしまいたる阿
 11 72 12 人めすくなくしめやかならむを人すくなく
 しめやかならんほどのおり／＼阿
 11 72 13 とりつゝとりて阿
 11 72 13 いみしういみしく保阿
 11 72 14 かゝるナシ阿
 11 72 14 御ありさまを思ありさま阿
 11 73 01 たえぬナシ阿
 11 73 01 きこしめさせてきこしめさせんと阿
 11 73 01 さらにナシ阿
 11 73 02 たにナシ阿
 11 73 03 やつにてやつに阿
 11 73 03 おほとこのもる御とのこもる保御とのこも
 り阿
 11 73 03 つれ／＼にてつれ／＼にても保

11 73 04 なんとと保阿
 11 73 04 おほしたる給ける保給阿
 11 73 04 御けしきけしき阿
 11 73 05 さためむさたむる阿
 11 73 05 つかうまつるつかまつる保
 11 73 06 さたむかたらふ阿
 11 73 06 女二の宮女二宮阿
 11 73 07 さまにてさまにて保
 11 73 07 給なる給阿
 11 73 07 いとおしくもいとおしうも阿
 11 73 08 くちおしくもナシ阿
 11 73 08 いかゝいかゝは保
 11 73 08 思みたるゝ思みたれさらん阿
 11 73 08 御すちすち阿
 11 73 09 おほゆるわさなりけれおほゆれはさるわさ
 なりけり阿
 11 73 09 こしうこしう阿
 11 73 10 たてまつり給て奉て阿
 11 73 10 いかやうにいかにかく保いかてかく
 阿
 11 73 10 ならむなりけん阿
 11 73 11 ありけれ物はありけれ保阿
 11 73 11 宮に宮も阿
 11 73 12 さまはさま阿
 11 73 12 きこしめしけりきこしめしたらん阿
 11 73 13 ついてはついて保阿
 11 73 13 のたまはせけるの給はせけるにかけても
 阿
 11 73 13 あらましかはあらませは阿

11 73 14 いふこといふことの阿
 11 73 14 侍なるをは入るなるを保侍を阿
 11 73 14 もとにてのそひて阿
 11 74 01 かの院の此院の阿
 11 74 01 事にてゝことにてゝ補入力保事い
 て阿
 11 74 01 給ふに給はんに保阿
 11 74 01 きこえさせ給へきこえさせつゝき保給は
 ん阿
 11 74 02 御身のナシ阿
 11 74 02 こそこそは阿
 11 74 02 色もふかくなり給入れと色なともくるはみ
 給入れなと阿
 11 74 03 いふかひなくいといふかひなく阿
 11 74 03 ちこはきにくちこはきには保
 11 74 03 いひはていひいて阿
 11 74 04 かたこと阿
 11 74 04 ものゝナシ阿
 11 74 05 このナシ阿
 11 74 05 心のうちに心中に阿
 11 74 05 ことのはし事阿
 11 74 05 きこえさせつゝ聞えさせつゝ阿
 11 74 05 たはかりはかり阿
 11 74 06 すへてナシ阿
 11 74 06 いとさらん阿
 11 74 07 いかゝは又いかてか阿
 11 74 08 おほしよりおほし阿
 11 74 08 なににまじりまじりまじりまじり何にまじ
 りまじりまじりまじりまじりまじりまじりまじり

11 74-09 ものをこそこそ物を阿

11 74-09 いひなしにいひなひ阿

11 74-09 給へけれ給はさらめ保給はめ阿

11 74-09 きさき更衣阿

11 74-10 なくやはなくやはある保

11 74-11 たくひなくめてたけれとめてたくてたくひ

なけれと阿

11 74-11 心やましき心やすき阿

11 74-11 こともことん保ことのみ阿

11 74-11 おほかるらむおほざるらん保阿

11 74-12 御中に御中にも阿

11 74-12 又ならひなきまたくひなき保たくひなき

阿

11 74-12 やつにさまにまでなし阿

11 74-12 給ひしに給て阿

11 74-12 ひとしからぬきは御方ノにたちましりめ

さましけなる入しるましきかたノにたに

ましりめさましき阿

11 74-13 こともことん保

11 74-14 世中は世中也阿

11 74-14 つきよりなるつききりなる保ふつきりなる

阿

11 75-01 なのたまひそよなの給そこれはうしろやす

くをしふるそよ保なの給そこれはうしろやす

すくをしふるそ阿

11 75-01 給入る給阿

11 75-02 給へきにちは侍らむ給へきやつちはあらん

阿

11 75-02 侍らさめりあらず阿

11 75-03 おやさまにとおやさまにも阿

11 75-04 思ひかはしきこえさせ給ためれ思聞えかは

し給めれ阿

11 75-05 なむとなど阿

11 75-05 さばかりさる阿

11 75-06 御心おほむ心保御なからひ阿

11 75-07 うちとけてうちとけ保

11 75-07 御覽せられんとは御らむせられむことは

保御覽せんとは阿

11 75-07 思ひかけぬおもひもかけぬ保

11 75-08 許はなにはかりのはかりに何の阿

11 75-08 あらむならむ保

11 75-09 仏神にも仏神にたにも阿

11 75-09 わさかはいみしきわさのことかはと

阿

11 75-09 しつゝして阿

11 75-10 物心阿

11 75-10 わか人わかき人保

11 75-11 いみしくいみしと保ナシ阿

11 75-11 のたまふをの給ことをは保

11 75-11 もしナシ阿

11 75-11 さりぬへきさめりぬへき保

11 75-12 たはかり今たはかり阿

11 75-12 夜はよは保

11 75-12 み帳御丁阿

11 75-12 おほくあまた阿

11 75-12 さふらふてさふらひて保阿

11 75-13 おまじのほとりにおまじのほとにも

阿

11 75-13 おりをかはをりかは保おりをか阿

11 75-13 ひまをみつけ侍入るへからむとわひつゝはひ

まきるとひまとはし侍らんといひつゝ阿

11 75-14 みつけ侍入るへからむみつけはへへからむ

保

11 75-14 ひんに白々にせめおせ給保つねにいひを

こせ給に阿

11 76-01 おりおりを阿

11 76-01 しておせたり聞えてつけたれは阿

11 76-01 いみしくナシ阿

11 76-02 いとナシ阿

11 76-03 けちかくなかノおもひみたるノこともま

るへきことまては思ひもよらすうたて思ひみ

たれまさるへきをまては思をよはず阿

11 76-03 こともこと保

11 76-04 いとほのかに一こと阿

11 76-04 つまはかりをみたてまつりし春のゆふへのつ

まをも見て阿

11 76-05 けちかくてけちかく阿

11 76-06 御かへりなともや御返などんや保御返事

阿

11 76-06 みせたまふあはれとやおほししとこそ見せ

給てあはれとたにやおもほししとはかりそ

阿

11 76-07 十日はかりの事也十日よひはかりなりけ

り阿

11 76-08 わかき人わかい人々阿

11 76-08 わらへわらはへ保阿

11 76-08 などなりけり阿

11 76 09 けさうけさうし保
 11 76 09 などナシ阿
 11 76 09 みむと見んなど阿
 11 76 09 思ひまづくるもとり／＼にいとまなけて思
 ひまづくるに人々とまおしけにて阿
 11 76 09 御前おまへ保
 11 76 10 人め阿
 11 76 10 ちかくけちかく保ちかう阿
 11 76 11 かよふ通ひける阿
 11 76 11 源中将せめてよひいたさせければ源中将
 にもいひに保源中納言しのひて物いひに
 阿
 11 76 11 おりたるいてたる阿
 11 76 11 このナシ阿
 11 76 11 しゅうこいしゅう保こいしう阿
 11 76 12 ちかくはさぶらふなりけりよきおりとおもひ
 てやをらみ帳のひんかしおもてのおましのは
 しにさぶらひてやをら此君を丁のひかしの
 かたのおましに阿
 11 76 13 なりやはなりや保阿なりやはな保
 11 76 13 なに心もなく何心なく阿
 11 76 13 おほとこのこもりけるを御とのこもりけ
 るを保御とのこもりけるに阿
 11 76 14 けはひのすればけはひしければ阿
 11 76 14 おはするおはしたる阿
 11 76 14 おほしたるおほしける保
 11 77 01 ゆかのしもにゆかの下に阿
 11 77 02 をそはるゝかをそはるゝ阿
 11 77 02 きゝもしらぬきゝしらぬ阿

11 77 03 人々を阿
 11 77 03 ちかくもちかく阿
 11 77 04 きゝつけてまいるふときゝつけてまいる人
 阿
 11 77 05 かすならねといとかうしもおほしめさるへき
 身とはかすならすともいとかくまでもおも
 ほさるへき身とも阿
 11 77 06 思給へられすおもふ給へられす保
 11 77 06 心の心阿
 11 77 07 こめてこめても阿
 11 77 07 心のうちにくたして心中にもくるしくても
 阿
 11 77 07 中／＼中／＼に阿
 11 77 08 もてはなれてもふもてはなれても保
 11 77 08 のたまはせおほしのためはせ阿
 11 77 09 身のその保身阿
 11 77 10 心さしを心さしをも保阿
 11 77 10 ことナシ保阿
 11 77 10 うこかしうこき保
 11 77 10 侍にし侍し阿
 11 77 10 よろつ万に阿
 11 77 11 ことゝ事を阿
 11 77 11 思給へかへせとおもふ給へかへせと保思ひ
 給へかへせと阿
 11 77 11 とし月にとし月には保
 11 77 11 くちおしくもくちをしく保
 11 77 12 むくつけくもナシ保阿
 11 77 12 あはれにも色／＼にあはれにもぞ阿

11 77 12 思給へまさるおもふたまへまさる保思ひ給
 へまさるゝ阿
 11 77 13 かくかう阿
 11 77 14 ゆくにいくに保
 11 77 14 けりける阿
 11 78 01 めさましくおそろしくてあさましくむくつ
 けて阿
 11 78 01 いらへもいらへをたにも阿
 11 78 01 ことはりなれとことはりなき阿
 11 78 02 ことにもことも阿
 11 78 02 ならはいとには阿
 11 78 03 中／＼ナシ阿
 11 78 03 ひたふる心ひたふるなる心保阿
 11 78 03 のたまはせはそれをつけたまはりてまかてな
 むすこしきこしめしをくことこの給はせ
 よまかて侍りなん阿
 11 78 03 うけたまはりてうけ給て保
 11 78 04 よその思ひやりはいつくしく物なれてみえた
 てまつらむ事もつかしくおしはかられ給に
 たゝか許おもひつめたるかたはしきこえしら
 せてよそに思ひやりきこゆるほとはつかし
 くをよひなく見え奉らんことをしははかられ
 給にたゝかたはしをかはかり聞え阿
 11 78 05 事もことん保
 11 78 05 はつかしくはつかしう保
 11 78 06 きこえしらせてきこえしらせて保
 11 78 06 かけ／＼しきよかけかけしき保
 11 78 06 おもひしかといとききはかり思しかとも心と
 きはかり阿

11 78 07 けたかう けたかく保阿
 11 78 07 なつかしく なつかしう保
 11 78 07 らうたけにやはく けちかくらうたけに
 なよノと阿

11 78 08 いみしく いみじう保阿

11 78 08 にさせ給はさりける ことなりける阿

11 78 09 さかしく さかじう保さほかしく阿

11 78 10 たえてやみなはや たえなはや阿

11 78 11 まとるむともなき まとるむとんななき保ま
 るみたる阿

11 78 11 このかの阿

11 78 11 いとナシ保

11 78 12 きたるたゝありしさまなからきたる阿

11 78 12 たてまつらむとて かへし奉らんと 思て
 阿

11 78 12 めてくして阿

11 78 12 なにしにたてまつりつらむ なに奉らん
 阿

11 78 13 おとるきてつちおとるきて阿

11 78 13 みえつる 見つる夢阿

11 78 13 思ふ宮は 思ほに宮は阿

11 78 14 おほえ給はぬにむねふたかりて おほさぬに
 御むけひつけて阿

11 78 14 おほしをほほるゝを おほしおほほるゝを
 保おほしくたくを阿

11 79 01 かくナシ阿

11 79 01 あさからなりけるとあさからぬと阿

11 79 01 おもほしなせ おほしなせ保おほしなせ給
 へ阿

11 79 02 なむそ保
 11 79 02 侍侍とて阿
 11 79 02 おほえなかりし おもほえぬ阿
 11 79 02 つまひま阿
 11 79 02 つなひきたりし つなきたりし阿
 11 79 03 けにけるに阿
 11 79 03 ありけむよとくちおしく契心つきありけん
 よちぎり心うく口おしかりける阿

11 79 04 御みみ保

11 79 04 なりけりなりけりとしぬはかり保なりけり
 とおほしぬ阿

11 79 04 いかてかはいかてか保ナシ阿

11 79 04 みえたてまつらむと見え奉らしと阿

11 79 05 心ほそくて心ほそく阿

11 79 05 たまふをいと給ふ阿

11 79 06 のこぶのこへる保のこへは阿

11 79 06 つゆけさのみまさる 露けく成行阿

11 79 07 いかは いか保

11 79 08 事も ことん保

11 79 08 ひとこと御こと 御一こと阿

11 79 09 なやますも なやませは阿

11 79 10 いとナシ阿

11 79 10 身をいたつらにやは身をやはいたつらに
 阿

11 79 11 なしはてぬなしはへらん保阿

11 79 11 よりて思わひて阿

11 79 12 侍れナシ阿

11 79 12 侍なむも 侍らんもさすかに阿
 11 79 12 御心ゆるしたまふ 心ゆるひし給保 御心のゆ
 るひ阿

11 79 13 さまなどは さまならは保阿

11 79 13 すすき阿

11 79 14 するそと するそ阿

11 79 14 すみのまの つま戸の阿

11 79 14 屏風をひやうぶ保

11 80 01 とのよへいりしかまたあきなからあるにま
 たくちのよへいりしとはまたあけなから
 阿

11 80 02 ほのかにも ほのかにても阿

11 80 02 心心は阿

11 80 03 侍ぬ 給ぬ阿

11 80 04 おほされは おもほされは阿

11 80 04 たに たにも阿

11 80 04 きこゆるを きこゆるに保奉るに阿

11 80 05 ものも物阿

11 80 05 おほせとし 給へと阿

11 80 05 わかノしきわひしける阿

11 80 05 御さま 御ありさま保

11 80 06 ゆめかたりも 夢かたりをたに阿

11 80 07 かくゆめノ阿

11 80 07 給へはこそさりともしま給な阿

11 80 07 さりともしさとん保

11 80 07 侍りなむとてのとならす 有なんと聞えさ
 せてのとならて阿

11 80 10 なくさめ給てなくさみて保なくさみ給て
 阿

11 80 11 みてもやむへく見てもさむへく阿
 11 80 11 はかなけにはかなく阿
 11 80 12 こゑこゑなと阿
 11 80 12 わかくわかう保
 11 80 12 おかしけなるおかしき阿
 11 80 13 たまはて大殿へそたまひて大殿へ阿
 11 80 14 うちふしたれとうちたれとも阿
 11 80 14 ゆめの夢阿
 11 81 01 ねこのねこも保阿
 11 81 01 おもひいてらる思てらる保
 11 81 02 あやまちあやまちを阿
 11 81 02 身かな身なれは阿
 11 81 02 ことこそこそ保事も阿
 11 81 02 なりぬれとけはひ阿
 11 81 03 なともなとん保
 11 81 03 女女かた阿
 11 81 03 御ためは御ためには保御ため阿
 11 81 04 心ち心保
 11 81 04 あるましきあさましき保
 11 81 04 中にもなかにも保
 11 81 05 とりあやまちてとりあやまりても阿
 11 81 05 こと物阿
 11 81 06 おほえむおもはん阿
 11 81 06 ならむならむこと保阿
 11 81 07 つみかと阿
 11 81 07 あたらすともあらすとも保阿
 11 81 08 はつかしくおほゆ思阿

11 81 08 すこしよつきたる心はえましりうはへす
 こしもよつき給へる心そひうへは阿
 11 81 09 こめかしきにもこめかしにも阿
 11 81 09 したかはぬナシ補入符号アル力保したか
 はす阿
 11 81 10 そひたるそひたるなと保そひ給へるなと
 阿
 11 81 10 かはし給かはしたる保かはり給阿
 11 81 11 これはふかき心もいとふかき事は阿
 11 81 11 御心心保御こち阿
 11 81 11 たゞいましも人のみきよつけたらむ又いまし
 も人に見つけきよつけられたらん阿
 11 81 13 えぬさりナシ阿
 11 81 13 なりけりとみつからなりとのみ阿
 11 81 13 おほしするへしおほしするへし保おもほ
 しする阿
 11 81 14 なむとなむし給と保し給と阿
 11 81 14 ありければ人のきこえければ保阿
 11 81 14 おとナシ保
 11 81 14 きよ給ておとるきながら保きよおとるき給
 て阿
 11 82 01 御事にうちそへて又ことに又うちそへて
 阿
 11 82 01 いかにとおとるかせ給ていかにおはする
 にかとおほして保いかにおはしますにかと
 おほし阿
 11 82 01 わたりおほしまし阿
 11 82 01 そのほかとことにそのほかと保ことさらそ
 こはかとなく阿

11 82 01 くるしけなることもみえ給はすくるしけに
 もおはせず阿
 11 82 02 みあはせえみあはせ保阿へえみあはせ保
 11 82 03 給はぬを給はぬは阿
 11 82 03 いとひさしくなりぬるたえまをうらめしくな
 を日ころへつるをうらめしくと阿
 11 82 03 おほすにやとおほさるるにやと保おほすに
 やおほすにやと阿
 11 82 03 いとおしくていとほしくおほして阿
 11 82 04 御心ちのさまなときこえ給て御心ちわつら
 ひ給さま阿
 11 82 04 とちめちきり阿
 11 82 04 いまさらにナシ阿
 11 82 05 みえをかれしとてなん見えをかれんも心く
 るしつなん又おもふ人もなきやうなる有さま
 を阿
 11 82 05 あつかひそめてみはなちかたければかう月こ
 るあつかひそめ侍て今さらえ見はなつまし
 ければ月ころかくあつかひ阿
 11 82 06 かうかく保
 11 82 06 さまにさまにて保
 11 82 06 すくしすこし阿
 11 82 06 侍にこそは入るそ保侍なり阿
 11 82 07 みなをし給てむなど見給なをしてんとのみ
 阿
 11 82 07 給はぬも給はぬにつきても阿
 11 82 08 心くるしくおほされてはつかしくて阿
 11 82 09 ましてまいて阿

11 82 10 などは なんと阿
 11 82 10 きむたち 内のきんたち阿
 11 82 10 かきつれきて かきつれて保阿
 11 82 10 いひそゝのかせといひうこかせと保
 11 82 11 をき ナシ保阿
 11 82 11 さまに さまにてよろつ阿
 11 82 12 きこえて 聞え奉りて阿
 11 82 12 みえたてまつり給はず 見奉らず阿
 11 82 13 つれ／＼に心ほそくなかめぬたまへるに 物
 心ほそくつれ／＼におほざる阿
 11 82 13 もたる もちたる阿
 11 83 01 つみをかしける つみそめてける阿
 11 83 02 いと中／＼なり 中／＼なれとひとやりなら
 ぬなくさめに阿
 11 83 02 くるまのをと 事のあしをと阿
 11 83 02 人やりならぬつれ／＼に ナシ阿
 11 83 03 おほゆ おもほゆ阿
 11 83 03 女宮も をむなみや保阿
 11 83 04 みしられをのつからしり阿
 11 83 05 女房なとも 女はうともなと保 女房なと
 阿
 11 83 05 みないて 人すくなに いて 阿
 11 83 06 ひきまさくりにて かきまさくりにつ 保 うちま
 さくり給て阿
 11 83 06 あてになまめかしけれとあてになまめかし
 ければ保 なつかしけれと阿
 11 83 07 をよほざりける およほざりけむ保 まほらひ
 りけり阿
 11 83 07 すくせ 身のすくせ阿

11 83 07 猶おほゆ おほざる保阿
 11 83 09 かさしなれとも かさしなれとん保
 11 83 10 むたる たるも阿
 11 83 10 しりう事 ひとりこと阿
 11 83 10 おとゝの君 おとゝ阿
 11 83 10 まれ／＼ まれに保
 11 83 11 給て 給ては阿
 11 83 11 ふとも ふとん保
 11 83 11 おほざるゝにたえいり 思給にたゝ入阿
 11 83 12 おほしわかぬす おほざる阿
 11 83 13 程の ほとん保
 11 83 13 たりたる阿
 11 83 14 なきのゝしる ましてなきのゝしりたる保 ま
 してなきのゝしる阿
 11 83 14 けはひいとまか／＼し ひゝきいとまか／＼
 しければ保阿
 11 83 14 われ あれ阿
 11 83 14 あらて あらぬ心ちして保阿
 11 83 14 給へれば 給保 給ふれば阿
 11 84 01 ひまくもま保阿
 11 84 01 かくかう阿
 11 84 01 かきりかきりは保
 11 84 02 さまともかきりなしみす法とものさまいと
 おほかりみすほつ阿
 11 84 03 なともとも保阿
 11 84 03 さはくを いてさはく保 まかてさはく
 阿
 11 84 03 みたまぶにさらはかきりにこそはとおほしは
 へるあさましきになにことかはたくひあらむ

さりとも物のけのするにこそあらめ とい
 みしきはかきりとおほしけるかあさましけれ
 は物のけなとこそ物し給らめ阿
 11 84 03 さらはさらはいまは保
 11 84 05 なさはきそと 物せそと阿
 11 84 06 そへ ナシ阿
 11 84 06 すくれたるけんさとものかきり 御かちとも
 すくれたるけんさを阿
 11 84 06 あつめてとつめて保阿
 11 84 07 御いのちにてこの世つきたまひぬともたゝい
 ま 御命つきたりともいま阿
 11 84 07 つきたまひぬとも つき給ひぬとん保
 11 84 07 この世このよに保
 11 84 08 御本のちかひもとのちかひ阿
 11 84 08 日かすを 御日かすのかきり阿
 11 84 08 かけとつめたてまつりつけとつめ阿
 11 84 09 かしらよりまことにくるけふりをたてゝいみ
 しき心をゝこしてかちしたてまつる いみし
 き心をおこしてかしらよりけふりをたつるに
 けにあらはれぬ阿
 11 84 10 院も 院も保
 11 84 10 たゝいま いたゝ保 たゝ阿
 11 84 10 給へ 給へと阿
 11 84 10 あへなく あえなくて保阿
 11 84 11 えみす みす保阿
 11 84 11 かなしきを とかなしきなと保
 11 84 12 給へき 給へきさま保
 11 84 12 心地とも 心ちも阿
 11 84 13 さらになシ阿

11 84 13 いてこぬいてえぬ保
 11 84 14 わらははらは阿
 11 84 14 のゝしるのゝしりさけふ阿
 11 84 14 ほとにほとにそ保に阿
 11 84 14 給に給ぬ阿
 11 85 01 いみしくいとみしく保阿
 11 85 01 むむひとゝゝるの御みゝに院の御みゝにあ
 てゝ阿
 11 85 02 月ころいみしく月ころ阿
 11 85 02 給か給に阿
 11 85 03 しらせむとおもひつれとさすかにいのちもた
 ふましく身をくたきておほしまとふしらせ
 んとてなり身をくたきて思入とさすかに御命
 もたうましくまとふ阿
 11 85 04 かくかう阿
 11 85 05 こそナシ阿
 11 85 05 までもナシ阿
 11 85 05 まいりきたるなれはまいりきたるなれは
 保まいりきたれば阿
 11 85 05 心くるしさをえみすくさてつるにあらはれぬ
 ることさうにしられしと思つる物をとてかみ
 をふりかけてなくけはひ心くるしさをえし
 のはてつるにかくあらはれぬる事となくさま
 阿
 11 85 06 えみすくさてえみすくさて保
 11 85 06 つぬにかくつひに保
 11 85 07 さまとみえたりさまなり阿
 11 85 08 むくつけしとむくつけく阿
 11 85 08 ゆゝしければゆゝしけなれば保

11 85 09 とらへてひきすへとりてひきすへ給て
 阿
 11 85 09 あしくもあしうも阿
 11 85 09 給はず給はて保阿
 11 85 09 その人かよからぬきつねなといふなる物のた
 ふれたるかなき人のおもてふせなることいひ
 いつるもあなるその人のけはひかよからぬ
 物のたはふれたるかきつねのやうのものゝな
 き人のおもてをかりてかやうの事もいふなる
 阿
 11 85 11 せよせさせ給て阿
 11 85 11 思ひいてられぬへからむおもひいてつへか
 らんこと阿
 11 85 14 つらしゝつらし保阿
 11 86 01 さけふ給阿
 11 86 01 ものはちしたる物はちしらひたる保
 11 86 01 けはひけしき阿
 11 86 02 うとましくうとましくて阿
 11 86 02 物は保物を阿
 11 86 02 いとナシ阿
 11 86 03 みたてまつれとみ奉れとも阿
 11 86 04 つらしとつらしとそ阿
 11 86 04 思ひきこえしうちをもひきこえし保 思聞え
 つゝ阿
 11 86 04 しふなむふしなむ保しうしんは阿
 11 86 05 けるけり阿
 11 86 05 なかにも中にも保中にても阿
 11 86 05 おとしておとしめ阿
 11 86 05 おほしすてしおほしすてたりし保おもほし

けん阿
 11 86 06 よりもよりは阿
 11 86 07 なむなと阿
 11 86 07 おほしナシ保阿
 11 86 08 たにも阿
 11 86 08 思へと思給ふれと阿
 11 86 09 なればなりければ阿
 11 86 10 こと心保
 11 86 10 まもりまほり阿
 11 86 10 まいらすまいらす保
 11 86 11 侍るよし侍らし阿
 11 86 11 つみのつみ保
 11 86 11 わざ事阿
 11 86 12 事もことん保も阿
 11 86 12 くるしくわひしきいみじうくるしき阿
 11 86 12 ほのほとのみほのほに保阿
 11 86 13 まつはれてまつはされて阿
 11 86 13 こともことん保こゑたに阿
 11 86 13 いといと阿
 11 86 14 ゆめ宮つかへのゆめゝ御みやつかへの保
 阿
 11 86 14 人とナシ阿
 11 87 01 おはしましゝゝるほひおはせしゝゝる阿
 11 87 01 御つみつみ保御むくひ阿
 11 87 01 かるむへからむくゝの事をかならす かる
 む入きことを阿
 11 87 02 給へ給へ阿
 11 87 02 なむありけるなといひつゝくれとありける
 といひしらすれと阿

11 87 03 し給はむも し給はん保
 11 87 03 ふむしこめてをしこめて阿
 11 87 04 たてまつり給奉らんとせさせ給けれと
 阿
 11 87 04 給にけり給ぬ阿
 11 87 05 御とふらひに御とふらひ保
 11 87 05 人々あるを人々もあれは阿
 11 87 05 おほすよおほす保おほざる阿
 11 87 05 いて給ひけるいそぎ出給へりける阿
 11 87 06 申せはまねひ申せは保阿
 11 87 06 いとナシ阿
 11 87 07 あるありける保
 11 87 07 ありつるあり阿
 11 87 07 うしなふ日にてかくし給ひにてけふ保かく
 れ給ひにてけふの阿
 11 87 07 そほふるなりけりふるなりける阿
 11 87 08 ありありけり保
 11 87 08 えなからぬなからぬ保かくこそはなな
 くらぬ阿
 11 87 09 なりなるを阿
 11 87 09 さくらにとさくらにとか保
 11 87 09 いふふる事もあるはいへる事のやうに
 阿
 11 87 09 事もふることん保
 11 87 09 いとよになから入てよになかくて保いと
 なかく阿
 11 87 10 たのしひたのしみ保阿
 11 87 10 つくさはつくさんは阿
 11 87 10 いまこそさこそ阿

11 87 10 二品宮二品の宮保
 11 87 11 御おほえあらはれ御おほえにしたかひ
 阿
 11 87 11 いとおしけにおされたりつる御おほえをナ
 シ阿
 11 87 11 たりつるたる保
 11 87 12 衛門督えもんのかみも保えもんのかみ
 阿
 11 87 12 きのふきのふは保
 11 87 12 くらしかたかりしをいくらしかたかりし
 を保いくらしかたかりしを阿
 11 87 12 思ひて思いて阿
 11 87 12 御おとつとも御おとつとの保阿
 11 87 13 藤宰相とつさいさう保頭宰相阿
 11 87 13 なとなどを阿
 11 87 13 いひあへるをきくにもむねいひけるをきく
 にむねの阿
 11 87 14 ひさしかるへきとひさしかるへきなと
 保
 11 87 14 うちすしうちすんし保ナシ阿
 11 87 14 院へみな院にたれもノ阿
 11 88 01 ゆくしくやゆくしうやは阿
 11 88 02 給へりナシ阿
 11 88 02 式部卿宮もしきぶ経の宮も保式部卿宮
 阿
 11 88 03 さまにてそさまにて保
 11 88 03 人の人ノも保阿
 11 88 03 御せうそこも御せうそくも保御せうそこ
 阿

11 88 04 え申つたへたまはず大将の君なみたをのこひ
 てし聞え給はず左大将なみたをしのこひて
 そ阿
 11 88 05 人の申つればしんしかたき人申つれとしり
 かたき阿
 11 88 05 つけたまはりなきておもふ給へなきて
 阿
 11 88 06 などと阿
 11 88 06 へたまへるへ給ぬる阿
 11 88 07 よりナシ阿
 11 88 07 給へりつる給ける阿
 11 88 08 給給へる阿
 11 88 08 侍てて保給てこそ阿
 11 88 08 みな人心しつむめれと人心しつめて侍れ
 と阿
 11 88 09 なき給へるなけきたる阿
 11 88 09 めもすこしはれたりナシ阿
 11 88 10 衛門督えもんのかみ保えもんのかみの君
 阿
 11 88 10 わかをのか阿
 11 88 10 君のいと君こそ阿
 11 88 11 御ことを御ことに保阿
 11 88 11 いたくいたう保
 11 88 11 たまへるかなとたれと阿
 11 88 11 これかれこれかれに阿
 11 88 12 なりつるをなりけるに阿
 11 88 13 心もおさめす心おさめす阿
 11 88 13 侍ける侍つる阿

11 88 13 えのとめす心あはたゞしきあはたゞしき
 阿
 11 88 14 給へる 給へる保
 11 89 01 のたまへりの給阿
 11 89 01 かむのきみは かの君阿
 11 89 01 つぶれて ぶたかりつぶれて阿
 11 89 01 うらうらう うらうらうのあり阿
 11 89 01 ならずは ならずはぬノ上カラすヲ書ク保な
 らては阿
 11 89 02 えまいる ましく えまいる ましつ阿
 11 89 02 思ふも 思物から阿
 11 89 02 心の内そはらきたなかりける 心のうちこそ
 はらぎゝたなからめ保 心中こそははらぎ
 たなからめ阿
 11 89 02 かく かくて阿
 11 89 03 給てのちしも 給てのちしもぞ保 給てし
 も中ノ阿
 11 89 03 おほして おもほして阿
 11 89 03 つくして つくし阿
 11 89 04 御けはひの 御けはひ阿
 11 89 04 まして まこて阿
 11 89 05 あやしき あしき阿
 11 89 05 おほしやるに 思ひやる阿
 11 89 06 さへそ 見え(ぞ保
 11 89 06 ものうく 物うくおほさるゝ阿
 11 89 06 いひもてゆけは いひもていけは保 いてもて
 ゆけは阿
 11 89 06 女の身はみな 女は阿
 11 89 07 もとる 物阿

11 89 07 いとはしく いとはし保 いとはしつ阿
 11 89 08 むつものかたりにすこしかたりいて 給へりし
 ことをいひいてたりしにまことゝむつことに
 けにほのかたりいて 給し事まことに阿
 11 89 09 わつらはしく わつらはしつ阿
 11 89 09 おほさる なり給阿
 11 89 09 おろしてむと おろひてん事を阿
 11 89 10 ちからもや ちからもや阿
 11 89 10 御いたゞき いたゞき阿
 11 89 11 たてまつり ナシ阿
 11 89 11 申すにも 申に阿
 11 89 12 人わるく 人わるく保阿
 11 89 12 そひめて そひめ給て保
 11 89 12 おしのこひ給ひつゝをこのこひつゝ保
 11 89 13 もろ心にもろとも阿
 11 89 13 世に よう阿
 11 89 13 いかく御心まどぶことにあたりては ナシ
 阿
 11 89 14 いかなる いかさまなる阿
 11 90 01 よるひるおほしなけくにおほすに阿
 11 90 02 すこし ナシ阿
 11 90 02 たりけり阿
 11 90 03 けしきに けしきも阿
 11 90 03 たまはねと 給はて阿
 11 90 03 よろしきさまなりされとなを よろしけれと
 阿
 11 90 04 わさひことに 法花經一部つゝくちうせさせ
 給 仏經かきつゝくちうせ阿
 11 90 05 日ごとに ナシ保阿

11 90 05 わさ わさを保
 11 90 05 給御まからかみちかくてもふたんのみと經こ
 象たつときかきりしてよませ給 ナシ阿
 11 90 07 ことゝも こと阿
 11 90 07 いとゝい 阿
 11 90 08 のみ ナシ阿
 11 90 09 御心ちにも 御けしきにもいと阿
 11 90 09 心くるしく 心くるしつ保 哀に心くるしと
 阿
 11 90 10 世中になくなりなん かくてうせなん阿
 11 90 10 わか身には 我身ひとりは阿
 11 90 10 くちおしきこと ちやしきことの阿
 11 90 10 かくいと かく保 ナシ阿
 11 90 11 まとぶめるに まとぶさま見るに阿
 11 90 11 たてまつらむか たてまつらむは保
 11 90 11 へければ へければにや阿
 11 90 12 御ゆ 御かゆ阿
 11 90 13 もたけも たけなとし阿
 11 90 13 六条院 六条の院保 六条阿
 11 90 13 あからさまにもえわたり給はず えあからさ
 まにもわたり給はず保
 11 90 14 ひめ宮 姫君阿
 11 91 01 おとろしく はあらす おとろおとろしつ
 はあらて阿
 11 91 01 たちぬる たちにし阿
 11 91 02 いたく いたう阿
 11 91 02 そこなはれ給 そこなはるゝわさをし給
 阿
 11 91 02 わりなく なをいとわりなく阿

11 91 03 時ノ、おりノ、阿
 11 91 03 宮、宮は保阿
 11 91 03 わりなきうとましくわりなき阿
 11 91 04 給へる、給阿
 11 91 04 御心、御心地保
 11 91 04 程も、ほとん保
 11 91 04 たに、ナシ保阿
 11 91 04 やはある、やあると阿
 11 91 05 なまめきたれはおほかたの人めにこそすこ
 しわかやかになまめきたれは阿
 11 91 06 めてらる、れめてらる、れ保、めてられ阿
 11 91 06 御心には、御心ちにしこし阿
 11 91 07 のみ、ナシ阿
 11 91 07 み給、みえたまふ保
 11 91 07 かく、かくのみ阿
 11 91 07 給は、給「磨滅力」保
 11 91 08 御めのとたち、御めのとたちも阿
 11 91 08 わたらせ、わたり保阿
 11 91 08 ことも、ことん保
 11 91 09 つぶやきつらみたてまつる、かくなやみとつ
 らきやつに見奉りける、かくつらみ阿
 11 91 09 給と、給こと保
 11 91 10 すこし、ナシ阿
 11 91 10 給へり、給へる阿
 11 91 11 うちやり、うちみやり、らノ上カラちヲ書ク「
 保
 11 91 11 給へりしかは、給へれば保阿
 11 91 11 かはかねと、かはかねとも阿

11 91 11 まよぶすちもなく、いときよらにゆらノと
 して、まかぶすちなくてゆらノとして、かゝ
 れり阿
 11 91 12 いろは、ナシ阿
 11 91 13 さをに、さをきまで保阿
 11 91 13 うつくしけに、うつくしけにて阿
 11 91 14 もぬけたるむしのからなとなつむしなどの
 から阿
 11 91 14 た、よはしけに、た、よはしけに、よはくあさ
 ましく保、よはけにあさましく阿
 11 92 01 院の内、院の中阿
 11 92 01 たとしへなく、ひろノとして保、たとしへな
 く、くらノとして阿
 11 92 01 さへみゆ、見ゆる阿
 11 92 02 かく、かう阿
 11 92 02 心ことに、いと心ことに阿
 11 92 03 うちつけに、ナシ保
 11 92 03 給ても、給て阿
 11 92 04 おもほす、おもほす保
 11 92 04 はちすの花のさきわたれる、はすの花のさき
 みたれたる阿
 11 92 05 つゆきらノとたまのやつに、露のいときら
 ノと阿
 11 92 05 かれ、あれ保
 11 92 05 ひとりも、ひとりしも阿
 11 92 07 夢の、いと夢の阿
 11 92 07 いみしく、ナシ保
 11 92 07 おほゆる、おもほゆる阿
 11 92 08 おりノ、の、おりノ、阿

11 92 08 ありしはや、ありしそや阿
 11 92 08 おほして、おほえ給て保阿
 11 92 09 きえとまる、きとまる阿
 11 92 09 かける許をと、かけるはかりをなと保、かける
 はかりはなと阿
 11 92 09 の給、の給て阿
 11 92 11 内にも院にも、うちなにも阿
 11 92 11 所、所も阿
 11 92 11 給と、給よし阿
 11 92 12 めにちかき、めにちかき御心地保、めちかき
 阿
 11 92 12 事も、ことん保
 11 92 12 なかりつるに、なくて阿
 11 92 13 さへやは、さへや阿
 11 92 13 おほしたちて、おもほしたちて保阿
 11 92 13 給ひぬ、給ひぬ保
 11 92 14 はつかしう、はつかしく保阿
 11 92 14 おほすに、ナシ阿
 11 93 01 さすかに、ナシ阿
 11 93 03 御心ちになむと、御なやみになと阿
 11 93 03 わつらひ、わつらはせ保、おこなひ阿
 11 93 03 御ありさま、御さま阿
 11 93 04 あやしく、あやしう阿
 11 93 04 御心の内、御心の内阿
 11 93 05 たにも、も阿
 11 93 05 不定なる、いかなる事にかふちやうなる
 阿
 11 93 05 おほせは、おもほせは阿

11 93 06 ともかくものたまひともかくも保 ナシ
 阿
 11 93 06 あへしらひ給はてあひしらはて阿
 11 93 06 うち ナシ阿
 11 93 07 らうたけなるをらうたけにおはするを保
 阿
 11 93 07 あはれといと哀に阿
 11 93 08 ふともふとん保とみにも阿
 11 93 08 えかへり給はて二三日おはするほとえたち
 かへり給はて阿
 11 93 08 うしろめたくおほつかなく保
 11 93 09 おほさるればおほしめさるれば阿
 11 93 09 おほむことのはにか御ことのはにか保御こ
 とのはわか阿
 11 93 10 いてやいて阿
 11 93 11 人は人々は阿
 11 93 11 侍従こしう阿
 11 93 11 たまへり 給阿
 11 93 12 心あやまり 心あやまち阿
 11 93 12 かきつゝけてかきつけて阿
 11 93 13 たまへり 給へる阿
 11 93 13 給へる程に 給へりけるほとなれば阿
 11 93 13 人まなりければひまなりければ保 ナシ
 阿
 11 93 13 みせたてまつる 御らんせさす阿
 11 93 14 いと ナシ保
 11 93 14 心うけれ心うけれとて阿
 11 94 01 たまへれば 給へるを阿
 11 94 01 たゝこの ナシ阿

11 94 01 おしけに侍そやとてひろけたれば人のまいる
 にいとくるしくてみ木ちやうひきよせてさり
 ぬいとゝ ナシ阿
 11 94 02 み木ちやう 御き丁保
 11 94 03 院いり給へはえよくもよつもえ阿
 11 94 03 さしはさみ給つ さしはさみたまつ阿
 11 94 03 ようさりつかた ようさりつかた保阿
 11 94 04 二条院 二条の院保
 11 94 04 あらすみえ給を 見え給はず阿
 11 94 05 なりしをみすてたる なりしさまを見すて給
 たる阿
 11 94 05 おもはるゝも 思はるゝを阿
 11 94 06 いとおしくてなむいと おしう阿
 11 94 06 ありとも あるとも阿
 11 94 06 心をき給な心をいておほすな阿
 11 94 07 たまひてむと 給てんなど阿
 11 94 07 かたらひ給 かたらひ聞給阿
 11 94 07 たはふれこと 御たはふれこと阿
 11 94 08 うちとけきこえたまふをいたくしめりてさ
 やかにもみあはせたてまつりうちませ聞え
 阿
 11 94 08 いたくいたう保
 11 94 09 御けしきと心えたまふひるのおましにうちぶ
 し給て ナシ阿
 11 94 09 御けしき ナシ保
 11 94 10 おほとこのこもりいりにけるにひくはしの 御と
 のこもりたりける程に口くはしに阿
 11 94 12 月まちてとも 月まちてとも 月削ッテカラ
 書ク保 月まちてとも阿

11 94 13 のたまふは の給か阿
 11 94 13 そのまにもとや そのまにもとや保 そのまに
 もやと阿
 11 94 14 給 給ぬ阿
 11 95 01 おきて行らむいてゝ行らぬ阿
 11 95 02 らうたければらうたけなれば保阿
 11 95 02 ぬてぬ給て阿
 11 95 02 うちなけき うちなけき保
 11 95 03 たまふ 給て阿
 11 95 04 まつ里も まつさとん保 まつかたも阿
 11 95 04 ひくらしのこゑ ひくらしのこゑを削ッ
 テこゑヲ書ク保
 11 95 06 おほとこのこもりぬ 御とのこもりぬ保阿
 11 95 06 また ナシ阿
 11 95 07 よへのよへ阿
 11 95 08 きのふ ナシ阿
 11 95 08 し給へりしおましのあたりし給ひしをまし
 阿
 11 95 09 とまりてとまり給て阿
 11 95 10 おしまきたるをしまかれたる阿
 11 95 10 みゆるを みゆ保阿
 11 95 10 ひきいてゝ御覽するにひきひろけて見給へ
 阿
 11 95 11 えむにえんにしみて阿
 11 95 12 こまゝとつすすみにこまゝと阿
 11 95 12 方事阿
 11 95 13 み給つ 見給阿
 11 95 13 まいらする 奉る阿
 11 95 13 み給 なをみ給保 なを見給へき阿

11 95 13 心御心阿
 11 95 14 こしう 小侍従つほね入をるゝとて阿
 11 95 14 いみしくいみしくて保いみじうも有かなき
 のふのかみの色なるからに阿
 11 96 01 御かゆいと心ちあしけにて御かゆ阿
 11 96 01 方かたノ阿
 11 96 01 いてさりとともいて給ふきても阿
 11 96 01 あらしいとあらしとこゝと阿
 11 96 02 いみしくいみじう阿
 11 96 02 かくいたまひてけむかくし給てけむ保かく
 し給てん阿
 11 96 03 おほとこのこもれり御とのこもれり保御との
 こもりたり阿
 11 96 04 おほすも心おとりしてされはよいとナシ
 阿
 11 96 04 されはよされはよと保
 11 96 05 みるみるそ保
 11 96 06 しうこしう阿
 11 96 06 よりてよりきて保阿
 11 96 06 せさせ給てしなり侍にけん阿
 11 96 07 ぶみ御文阿
 11 96 07 にていみじうにて阿
 11 96 07 おほして涙のおほすになき阿
 11 96 09 いくにかはいくにか阿
 11 96 09 をかせ給てしおかせたまひて山補入力
 保をかせ給にし阿
 11 96 10 いみい(ふ)み保心み阿
 11 96 10 心のおにナシ保
 11 96 11 侍にしを侍に阿

11 96 11 なむ思給へしときこゆれはいきとよみしほと
 にiri給しかはふともえおきあからておも
 ひ給へにしかはえをきあへて阿
 11 96 13 いときこえむかたなし聞えんかたなし
 阿
 11 96 13 よりてみれはいつくのかはあらむあないみし
 かの君もいといたくおちはかりてけしきに
 てももりきかせ給事あらはかの君もいみし
 うをちはかり給けしきにてもしもりきこし
 めす事もあらんは阿
 11 96 13 みれはいつくのかはみれといづくにかは
 保
 11 96 13 いみしいみしや保
 11 97 01 たにも阿
 11 97 03 思ひ給へし思給へき阿
 11 97 03 いとおしくいとおしくそ阿
 11 97 04 はかりもなくはかりなけき阿
 11 97 04 きこゆきこゆる保
 11 97 04 おはすればおはしませは阿
 11 97 05 し給はてえさせ給はて阿
 11 97 05 のみそナシ阿
 11 97 05 いとなやましけにてつゆはかりのいとなや
 ましくて露はかりも阿
 11 97 06 たてまつり給てたてまつり給て保奉らせ
 給て阿
 11 97 07 給にたる給入る阿
 11 97 07 御あつかひに御あつかひのみ阿
 11 97 07 心御心保
 11 97 07 ことゝとのみ阿

11 97 08 あやしくあやしく保
 11 97 08 人人の阿
 11 97 09 中になかに保中にも阿
 11 97 10 まかうたかふ保阿
 11 97 10 ことゝも事とものみ阿
 11 97 11 ことはことの葉阿
 11 97 12 さやかさやう阿
 11 97 13 おもひやりなく思ひやりなう阿
 11 97 13 こそとあるを阿
 11 97 14 こまかなるへきおりふにまことそきつゝこ
 まやかなるへかりしまことそきつゝ阿
 11 97 14 かきまきぶはししかまきぶはし阿
 11 98 01 けりナシ阿
 11 98 01 給つ給ぬ阿
 11 98 02 もてなししなし保阿しなし阿
 11 98 02 きこゆ奉る阿
 11 98 02 めつらしきさまの御心ちかのめつらしき御
 ありさまの心ち阿
 11 98 03 かくナシ阿
 11 98 03 ありしなからみたてまつらむありしなから
 もみ奉らん事阿
 11 98 04 御心心保
 11 98 04 え思ひなをすましくえおもひなをすましつ
 阿
 11 98 04 おほゆるを おほゆるに阿
 11 98 05 すさひとはしめより心をとめぬすさひに
 心をとめぬ阿
 11 98 05 思ふは思入は阿
 11 98 06 へたてらるゝへたてらる保

11 98 06 ましてまいて阿
 11 98 07 御めをも御めを阿
 11 98 07 いふかたナシ阿
 11 98 08 おなし君におほそつにおなし君に阿
 11 98 09 方につけてもことにふれて阿
 11 98 09 心を心保
 11 98 09 ものゝまきれ物のまきれも阿
 11 98 10 いへとあるすちかゝるかたにつけてかたは
 なる人もありいへともかゝるかたにてかた
 をなるきはの人もありき阿
 11 98 11 をもからぬおもからぬも保すくれてをもか
 らぬ阿
 11 98 11 事もことん保
 11 98 11 あれとあなれと阿
 11 98 11 さたかなるあやまちさたかならぬあやまち
 也阿
 11 98 12 あらはならぬあらはなる阿
 11 98 13 きこえてきこえて保
 11 98 14 はくゝまむはくゝむ保侍らん阿
 11 99 02 程もほとん保
 11 99 02 ものすさまじきに物すさまじき人の阿
 11 99 03 わたくしのナシ阿
 11 99 03 みすくしかたきおりのおりふし阿
 11 99 04 そむはしむ保
 11 99 04 おなしナシ阿
 11 99 05 すちことのです保ことのうち阿
 11 99 05 心を阿
 11 99 07 つけてつけても保
 11 99 07 かくかくや阿

11 99 07 しらすかほをしらすかほ阿
 11 99 07 つくらせつくり保阿
 11 99 08 こそはいとこそいか阿
 11 99 09 おほすおもほす阿
 11 99 09 恋の山ちこのみち阿
 11 99 11 心くるしう心くるしく阿
 11 99 11 思やりおもひ阿
 11 99 12 おほして心ちは思給てこゝには阿
 11 99 12 なりにて侍をかなり侍をか阿
 11 99 12 おはすらむおはする阿
 11 99 13 いとおしけれかたはらいたけれ阿
 11 99 14 心ちにもおはせねは御心ちにも見え給はね
 是阿
 11 99 14 思ひて思給へられて阿
 12 00 01 御ふみありつか院のいとやむことなく御
 つかひありつかの院の阿
 12 00 02 かくしか阿
 12 00 02 おほしたるなるへしおもほしたるへし
 阿
 12 00 02 すこしすこしも阿
 12 00 02 などもなどん保しも阿
 12 00 03 ことこのころの保所も阿
 12 00 03 いとおしきやとてつめき給へはいとおし
 き事とてつちつめき給へれは阿
 12 00 03 きこしめさむきこしめさむこと保阿
 12 00 04 みつからみつからの保さつしみの阿
 12 00 04 われみつから阿
 12 00 04 おほしとかめすともおほしとかめすとん
 保

12 00 05 人々人阿
 12 00 05 思へはいとくるしくなむ思侍れはいと心く
 るしきなり阿
 12 00 06 なんと保
 12 00 06 人のためには心のためは阿
 12 00 07 なければなれと保阿
 12 00 07 おほよそ人のおほよそ人の保おもほす人
 の阿
 12 00 07 心ところ保事阿
 12 00 07 これはたゝナシ阿
 12 00 08 御心やをき給はむ御心やおいたまはむ保心
 をい給はん阿
 12 00 08 とはかりをはゝからむははかりしもは
 阿
 12 00 09 あさきあさひ阿
 12 00 09 しけるとしけると保
 12 00 09 ほゝゑみてほをゑみて保
 12 00 09 まきはすまきはすに阿
 12 00 10 もろともにもろとんに保
 12 00 10 かへりてをかへりて阿
 12 00 10 のみきこえ給の給阿
 12 00 11 御心もなくさみなむ程にをときこえかはし御
 心をもなくさめなほとにもと聞え阿
 12 00 12 日ころのふるも人の御つらさにのみおほす
 をいまは日比をも人のつらさにおもほすも
 阿
 12 00 12 御つらさおほむつらさ保
 12 00 13 御をこたり御をこたりも保をこたり阿

12 00 13 なりぬるなりぬるよ阿
 12 00 13 おほすにおもほすに阿
 12 00 13 院も院にも阿
 12 00 14 きこしめしつけてきこしめして阿
 12 00 14 おほしめさむおもほさん阿
 12 00 14 いみしけにのみいひわたれとまこしつうきい
 12 01 02 つけてければいとあさましくつけられはい
 12 01 03 につてもにて阿
 12 01 03 やうもややうもや保事もやあらん阿
 12 01 04 ましてさはかりまいてさはかり保さして
 12 01 05 み給てけむ見給けんか阿
 12 01 05 はつかしくかたしけなくはつかしうかたし
 けなう阿
 12 01 05 かたはらいたきにかたはらいたきを阿
 12 01 06 しむるひえしむ阿
 12 01 07 まめことにもまめこと阿
 12 01 07 めしまつはしナシ保まつめしまとはし
 阿
 12 01 07 こまかにこまやかに保
 12 01 08 おほしおもほし阿
 12 01 08 あさましくめさましく阿
 12 01 09 いかてかはいかてか阿
 12 01 10 人めあやししく人めあやし保人も心をき
 阿
 12 01 11 いとナシ阿

12 01 12 つみにはつみに保阿
 12 01 12 あたるへきならねとあたるへきことにはあ
 らねと保あたるへきにはあらねと阿
 12 01 13 かつはナシ阿
 12 01 13 いとナシ阿
 12 01 13 いてやナシ阿
 12 01 13 しつやかにつしやかに保阿
 12 01 14 かのナシ阿
 12 01 14 かる／＼しかる／＼し保かゝらし阿
 12 02 01 おもひ給へるおもふ給へりし保
 12 02 01 みえきそ阿
 12 02 02 方にてかゝるに阿
 12 02 02 なむなんを阿
 12 02 02 あらむナシ阿
 12 02 03 あまりたゝ阿
 12 02 03 ひたおもむきにひたをもふきに保
 12 02 03 おほとかにおほとかにて阿
 12 02 03 ありさまもありさまをも保阿
 12 02 04 心をき給心をひ給阿
 12 02 04 こともことん保
 12 02 04 かくナシ阿
 12 02 04 御身のためも人のためも御身のため人のた
 め阿
 12 02 05 ことにもことも阿
 12 02 05 心くるしさもえ思ひはなたれ御心くるしさ
 も思はなれ阿
 12 02 06 いとらうたけらうたけ阿
 12 02 06 なをナシ阿
 12 02 07 はなちはなちきこえ保阿

12 02 07 つけてはあやにくらうきにまきぬひつぢ
 のつけてもうきにまじる恋しさも阿
 12 02 07 くるしくくるしう保阿
 12 02 08 おほさるればおもほさるれば阿
 12 02 08 いとおしくいとおしう阿
 12 02 09 などさま／＼にさま／＼阿
 12 02 09 ことは事阿
 12 02 10 いたはしくいたはしう阿
 12 02 10 まし給けちかくうちかたらひきこえ給し給
 にちかくかたらひ聞ゆる阿
 12 02 11 さまかたさま保
 12 02 11 いとナシ阿
 12 02 11 こよなくこよなう阿
 12 02 12 めやすくやすく阿
 12 02 12 のみナシ阿
 12 02 12 このナシ阿
 12 02 12 御心の内御心の中阿
 12 02 12 しもそしも阿
 12 02 14 さまさまいと阿
 12 02 14 かくかう阿
 12 02 14 心もとなく心もとなう阿
 12 03 01 をくれたるをくれたるさまの阿
 12 03 01 たのもしけなきたのもしけない阿
 12 03 01 うしろめたくうしろめたなく保
 12 03 02 女御の女のいと阿
 12 03 02 をひれをくれ阿
 12 03 02 心かけ心をかせ阿
 12 03 02 ましてまいて阿
 12 03 03 かうかく保

12 03 04 めとまりめとまりぬ阿
 12 03 05 右のおとゝ右の大ぬ殿阿
 12 03 05 北の方のきたのかた保
 12 03 05 とりたてたることによりたてたる阿
 12 03 05 おさなくよりおさなくよりおやたちにはな
 れ阿
 12 03 06 おほかたには思かたに阿
 12 03 07 にくきにくき保
 12 03 07 つれなくいとつれなく阿
 12 03 08 もてなしてもてなし保阿
 12 03 08 入りきたりけん入きたりける阿
 12 03 09 人にも人に阿
 12 03 09 ゆるされたるありさまに人にゆるされた
 るありさまに保人にゆるされあるさまに阿
 12 03 10 つみあるにはあるつみには保あるつみにて
 阿
 12 03 10 いまいひ保
 12 03 11 契ふかきさてちきりふかき阿
 12 03 11 かくてたもたむことはとてもナシ阿
 12 03 12 あらまし物から心あらましかはわか心
 阿
 12 03 12 ことゝもことゝ保事そと阿
 12 03 13 おもひいては思阿
 12 03 13 かるゝしきかるゝしき保阿
 12 03 13 思ひくはゝりなましおもわくはかりなまし
 かし阿
 12 03 14 二条の内侍のかむのみみ二条内侍督君
 阿

12 04 01 かくとかく阿
 12 04 01 うしろめたきうしろめたい阿
 12 04 01 おほしりておほして阿
 12 04 02 給けり給けりへう削ッテけう書ク保けり
 阿
 12 04 02 きゝ給てはきくは阿
 12 04 03 なむとなど阿
 12 04 03 にほはしにほひ阿
 12 04 05 さまゝなるさまゝなる事阿
 12 04 06 さためなさためなき阿
 12 04 06 おもひつめておもひつめて保しりて
 阿
 12 04 06 きこえナシ阿
 12 04 06 ちおしきをおほすつともちおしき
 をなんなへての世をおほすつとも阿
 12 04 07 こそはとこそはなと保
 12 04 08 おほくナシ阿
 12 04 08 とくとう保
 12 04 08 御さまたけ御さま阿
 12 04 09 人には人に阿
 12 04 09 なれと心の内なれは心のつちには阿
 12 04 10 御契を御ちきりの阿
 12 04 10 しられぬしらぬを阿
 12 04 10 おほしいてらるおほしいてらるらノ後ノ行
 末るヲ削ル保おほしいてらる阿
 12 04 11 御返御かへり保ナシ阿
 12 04 11 心とゝめてかき給すみつきなといとおかす
 みつき心とゝめてかひ給阿

12 04 12 世とは世をは阿
 12 04 12 身ひとつみひとつに保わか身ひとつに阿
 12 04 12 侍にしをゝくれぬ侍にしかとをくれたる
 阿
 12 04 14 をくれけんをくれける阿
 12 04 14 いさりせしきみあさりせし君阿
 12 05 01 にもに阿
 12 05 01 ありありける阿
 12 05 01 さしつけ阿
 12 05 01 たまへは給へり保阿
 12 05 02 いたくいといたく阿
 12 05 02 ふてつかひなをふりかたく筆つかひのさま
 など猶ふりす阿
 12 05 03 二条院二条の院保
 12 05 03 女君にもこの女君には阿
 12 05 03 むけにけんき阿
 12 05 04 はつかしめられたれはつかしめられたり
 保
 12 05 04 けに心用なしやけに心つきなしやつきなし
 二削訂カ保ナシ阿
 12 05 04 さまゝさまゝに阿
 12 05 04 心ほそきはかなき保心つかひ阿
 12 05 05 よくナシ阿
 12 05 05 みすくしつる見すくしつる阿
 12 05 05 やつなるよかな阿
 12 05 05 なへてのなへてなへての保
 12 05 05 世のナシ保
 12 05 05 はかなくたゝはかなく阿

12 05 06よせてつけて阿
 12 05 07かはしつへきかはひつへき阿
 12 05 07人ナシ阿
 12 05 07こそはのこりこそはのこり保
 12 05 07ありつるをかく給つるを阿
 12 05 08いみしういみしく保いとみしう阿
 12 05 08つとめてつとめ保阿
 12 05 08をこなひにしみ給にたなりおこなひしつみ
 給なんなり阿
 12 05 09こゝらの人こゝら人保
 12 05 09思ふさまにをもく阿
 12 05 10御なすらひにたにも御なすらひにたにえ
 保御なすらへにたに阿
 12 05 10女こををんなこ阿
 12 05 10おほしたてむおふしたてん阿
 12 05 11かたかるへきわさかたかへいこと保かたい
 わさ阿
 12 05 11いふらむいふなる保いふ阿
 12 05 11わさにて物にて阿
 12 05 12おいたゝむおひたらん阿
 12 05 12ちからおやのちから阿
 12 05 13方ノノにて阿
 12 05 13なりけれなりけれと保
 12 05 14わさやさまノノにわさやとさまノノにて
 阿
 12 06 01おほしたておほし阿
 12 06 01心を心をも保
 12 06 02なに事もなにごん保
 12 06 02心もとなき心もとない阿

12 06 02方にそかたにて阿
 12 06 03みこたちみたちこに二直ス力保
 12 06 03人にてまて阿
 12 06 03世をのとかにのとやかに世を阿
 12 06 03すくし給はむすくひ給阿
 12 06 04心はせつけまほしき心はせはかきまほしき
 阿
 12 06 06きこえ給へはの給へは阿
 12 06 07やうやうは阿
 12 06 07いかならむいかあらん保
 12 06 07物をナシ阿
 12 06 08かく心にまかせてをこなひをもおこなひを
 阿
 12 06 08人々を人阿
 12 06 08思ひきこえたまへり思やり聞え給阿
 12 06 09さまかのさま保阿
 12 06 09かはりたまへらむさつそくなとまたかはる
 らん御さつそく阿
 12 06 09タチなれぬタチはなれぬ保
 12 06 10なとはなと阿
 12 06 10それノそれを保その阿
 12 06 11ものしつけむ物しつらん阿
 12 06 11みめみるめ阿
 12 06 12なとと阿
 12 06 12給給へは阿
 12 06 13こゝにはこゝにては保こゝにて阿
 12 06 13給給へく阿
 12 06 13御くとも御くとも保御くとももの事に
 阿

12 06 13さるへきはしめのたまはずなにくれの事お
 ほせ給阿
 12 06 14屏風木長などのうちしきなにくれ屏風など
 の阿
 12 06 14事もごん保を阿
 12 07 01いそかせ給けりいそさせさせ給阿
 12 07 01秋とありし秋にも成ぬる阿
 12 07 02大将の大将の御はきみの保
 12 07 02かくそかくところ阿
 12 07 02ひんなかるへしひんなかるへし保
 12 07 02九月は九月はた保
 12 07 02院のおほきさきの院のおほきさき保阿
 12 07 03給にし給し阿
 12 07 03おほしまつくるをひめ宮おほしまつつけ姫
 宮の阿
 12 07 04給へは又給ければ阿
 12 07 04衛門督ゑもんのかみ保
 12 07 04御あつかりの宮御あつかりのみこ阿
 12 07 04月には月に保阿
 12 07 05いかめしくいまめかしく保いといかめしう
 阿
 12 07 05ものきよらきしきよら阿
 12 07 05給へりけり給けり保阿
 12 07 06いていてたち保
 12 07 07やまひつきでのみちやまひつき給て阿
 12 07 07ものをつゝまじくいとおじと物のみつゝま
 じつていとおしく阿
 12 07 08おほしなけくおもほしなけく阿
 12 07 08あらむナシ阿

12 07 08 くるしげに くるしう阿
 12 07 09 あえかなる あへるなる阿
 12 07 10 なげかしくて なげかしうて阿
 12 07 10 おほしなげく おほしきはく保阿 おほしお
 もほし阿
 12 07 11 など などに阿
 12 07 11 すくし すくし阿
 12 07 11 御山院阿
 12 07 12 こひしと 恋しく阿
 12 07 12 かく ナシ保
 12 07 13 人の 人ノも保
 12 07 13 いまさら いまさら保阿
 12 07 13 うらめしく おほして たいの方 うらめしくて
 たいの上阿
 12 07 14 わつらひける わつらひ給ける保
 12 07 14 きこしめして たに きこしめしたるに阿
 12 08 01 そのうち その心も阿
 12 08 01 給らむ 給はん阿
 12 08 02 ひむなき へむなき保
 12 08 02 事 ことな阿
 12 08 02 たまふこと ならねと 給はねとも阿
 12 08 02 御うしろみ うしろみ阿
 12 08 03 事が 事とも阿
 12 08 03 などの な阿
 12 08 03 かはすへ きながら ひなとに もけしからすうき
 こといひつる たくひもきこゆかしと せへお
 ほしめるも こまやかなる かはすならひなとも
 けしからすいひつゝくる たくひもきこゆかしな
 とせへおほしめるも こまやかなる せ阿

12 08 05 事 ことなりかし 保 ことら阿
 12 08 05 すてゝし すてられし阿
 12 08 06 宮 宮の御かた阿
 12 08 06 こまやかに て こまやかに阿
 12 08 07 しはノも きこえぬ ほとにおほつかなくての
 みとし月の すくる 年月をすくす阿
 12 08 08 なりける なりけり阿
 12 08 08 さまはと 夫を保
 12 08 08 のちねんすの 後は申すねんしゆの阿
 12 08 09 思ひやらるゝ 思ひやる阿
 12 08 09 世中さひしく 世中はなをさる心しり阿
 12 08 09 ありとも ありとん保
 12 08 09 しひすくし 給へ 忍すくひ給へ阿
 12 08 10 ほのめかす ほのめかすも阿
 12 08 10 しなをくれたる しなをくれたる保 しなき
 阿
 12 08 11 わさになむ わさなる阿
 12 08 11 いとノおしく 心くるしく かくる内ノのい
 とノおしくて かくうちノに阿
 12 08 12 あさましきを はあまましき ことをは 保 あさ
 ましき 事は阿
 12 08 12 へきには あらて へき ことにも あらす 保 へき
 にも あらす こと阿
 12 08 13 ことを とばかり こと ほとにのみ阿
 12 08 13 おほしつゝ けて おほしみて 保阿
 12 08 13 御返をは 御返事は阿
 12 08 14 御せうせ 御せうそく 保 御しうそ
 阿
 12 09 01 ありとも ありとん 保 あるとも阿

12 09 01 はかりは はかりには 保
 12 09 01 あらしと あらしをらに よもと阿
 12 09 01 きこえたる きこえなしたる阿
 12 09 02 あらむ ナシ保
 12 09 02 たまへる 給へる 保
 12 09 02 御すかたさま阿
 12 09 03 ものおもひくし ものおもひくし阿
 12 09 03 いとゝいと阿
 12 09 04 みをき おもひをき阿
 12 09 04 いたくは いたく阿
 12 09 04 きこえ ナシ阿
 12 09 05 たてまつれば 給へは阿
 12 09 05 なむ ナシ阿
 12 09 05 かう かく 保阿
 12 09 06 おもへと 思待れと阿
 12 09 06 やすからすい ぶせきい ぶせく やすからぬ
 保
 12 09 07 しらせ てやは とて なむ いたりすくなく しら
 せす てやかて なんいたるすくなく 阿
 12 09 08 たゝ ナシ保
 12 09 08 あさきと あさきに阿
 12 09 08 又 ナシ阿
 12 09 08 こよなく こよなう阿
 12 09 09 ありさまも さまを阿
 12 09 09 あなつらは しく あなつらはしう阿
 12 09 09 めなれて おほしめされて 阿
 12 09 09 みなし見阿
 12 09 09 給らむも 給らむ保
 12 09 10 うれたくも うれたうも阿

12 09 10 おほゆる思給へらるゝ阿
 12 09 10 ほとはこなたは保ほとこなたは阿
 12 09 10 心を阿
 12 09 11 やうやうも阿
 12 09 11 さたすき人さたすきぬ阿
 12 09 11 おなしくなすらへきこえてナシ保
 12 09 11 なすらへなすらひに阿
 12 09 12 かるめかるめ阿
 12 09 12 みちおこなひのかた阿
 12 09 12 うすかるへきすくなかるへき阿
 12 09 13 女かたをむな保女なと阿
 12 09 13 おほかるを おほかるも御事によりなんひき
 とめられ侍これ阿
 12 09 13 心には御心には保御心に阿
 12 09 14 まよふまとふ阿
 12 09 14 いまはとすて今はとてみすくひ阿
 12 10 01 をき給へるゆつりをき給へる保阿)をきお
 ひ阿)
 12 10 01 ひきつつきひきつゝきて阿
 12 10 02 さまにさまにて阿
 12 10 02 みすてみすてみニミセケチカ保
 12 10 02 おほされんにおほされん事を阿
 12 10 03 人々もいまはかけとめらるゝ人々今しは
 しかけとめらるゝ阿
 12 10 04 ゆくす系行さき阿
 12 10 04 みこたち御子たち阿
 12 10 05 世たにかたに阿
 12 10 05 のとけくはとのとけくは保阿

12 10 05 みをきつへし見をきつへき阿
 12 10 06 身をすてむも身をもすてんに阿
 12 10 06 よはひともによはひになん阿
 12 10 07 あつしくいととなりまさり給てあつしくの
 みなりまさる給阿
 12 10 08 おほしたるにおもほしたるに阿
 12 10 08 御な御なも保
 12 10 09 よのナシ阿
 12 10 09 御みちの御みち保ナシ阿
 12 10 10 ならむもなん阿
 12 10 10 おそろしからむおそろし阿
 12 10 10 まほにまをに保ナシ阿
 12 10 11 つけナシ保
 12 10 11 涙のみおちつゝなみたのみおちつゝなヲ削ッ
 テのヲ書クカ保なみたのおちて阿
 12 10 11 おもひしみて思しらて阿
 12 10 12 うへにてももとかしくきゝ思しうへにても
 とかしとぎゝ阿
 12 10 13 むつかしくうるさきむつかしき阿
 12 10 14 はちたまひつゝはかりの給つゝ阿
 12 10 14 手つからおしすり御手つからをしすり給
 阿
 12 10 14 とりまかなひとりとて保とりいてゝ阿
 12 11 01 たてまつりナシ阿
 12 11 02 返事はいと返事なとは阿
 12 11 02 かくしもかうしも保
 12 11 02 給らむかしておほしやるに給らんかしなと
 おもほしやるか阿
 12 11 02 にくければうければ保阿

12 11 03 こと葉なとナシ阿
 12 11 03 給まいりナシ阿
 12 11 04 事はこと保
 12 11 04 二の宮一宮阿
 12 11 05 御身さまおほきみさま保おほ君すかた
 阿
 12 11 05 心ちしけり心ちし給けり阿
 12 11 06 しも月は身つからの忌月霜月はた御き月
 阿
 12 11 06 をはりはたいともさはかしをはりも物さ
 はかく阿
 12 11 06 いとゝナシ保阿
 12 11 07 給はんをと給はんを阿
 12 11 07 さのみ又阿
 12 11 08 ことにやはことにや保
 12 11 08 物おほし思阿
 12 11 08 もてなし給てもてなし給て阿
 12 11 10 衛門督ゑもんのかみ保
 12 11 10 あるへきある事の阿
 12 11 10 おりふしをり保
 12 11 10 まつはし給つゝまとはし給て阿
 12 11 11 のたまはせあはせしをの給あはせしを
 阿
 12 11 11 さるナシ阿
 12 11 11 御せうそこせうそく保
 12 11 11 人や保人も阿
 12 11 12 みむにつけてもみむにつけて保見えんにつ
 けても阿
 12 11 12 ほれゝしきおれゝしき阿

12 11 12 方かたは保
 12 11 12 みむには又ナシ保 みに又阿
 12 11 13 わか心もナシ阿
 12 11 13 おほし おもほし阿
 12 11 13 やかて月ころ月ころもやかて阿
 12 11 13 給はぬをも 給はぬも阿
 12 11 14 おほかたの人 大かた此人阿
 12 11 14 れいならず れいのやうにあらず阿
 12 11 14 院にはた 院にも阿
 12 11 14 など ナシ保阿
 12 12 01 のみ思ひわたる 思たる阿
 12 12 01 大将の君 大将君阿
 12 12 01 ことなる ナシ阿
 12 12 02 ことには ことに保阿
 12 12 02 しのはぬにや えしのはぬことや保しのはぬ
 事や阿
 12 12 02 思ひよれと 思よれとも阿
 12 12 03 のこりなき 残りぬ阿
 12 12 03 さまならむとは さまなるらんとまては阿
 12 12 03 おもひより 思および保阿
 12 12 03 給はさりけり 給はさりけり保
 12 12 03 十二月に しはすに阿
 12 12 03 なりにけり なりぬ保阿
 12 12 04 十日よひ 十日よひ阿
 12 12 04 まひと も まあとん保
 12 12 04 二条の院のうへ 二条のうへ阿
 12 12 05 よりそ よりてそ阿
 12 12 05 えしつめはてゝ えしつめ給はず阿

12 12 06 女御の君 女御君阿
 12 12 06 みこ 御子阿
 12 12 06 又 ナシ阿
 12 12 07 すきノいとおかしけにておはするを すきノ
 へにとつづくしけにておはしますを阿
 12 12 08 おほされける おもほされける阿
 12 12 08 試樂に しかくには保阿
 12 12 08 右大臣殿のきたのかたもわたり給へり 大将
 の君 右大殿の北方わたりたまへる 大将も
 阿
 12 12 09 うちノにてうかくのやうに うちノにて
 しかくのやうにて阿
 12 12 10 給ければかの御方 給へは此御方阿
 12 12 10 おまへ 御まへ阿
 12 12 10 衛門督を 衆もんのかみを保 衛門督阿
 12 12 11 事のおりも ことのをりにも保おりのことに
 阿
 12 12 11 ましらはせならむ ましらはならん阿
 12 12 12 人 ナシ阿
 12 12 13 まいらす まいり給はず阿
 12 12 13 そこはかとそこはかとなく阿
 12 12 13 あらざるを あらざるを阿
 12 12 14 心の心阿
 12 12 14 心くるしく 心くるしつ保くるしく阿
 12 12 14 とりわきて わきて阿
 12 13 01 なとか なと阿
 12 13 01 院にも 院も保阿
 12 13 01 給に 申給阿
 12 13 03 かさねて とりかさねて保

12 13 03 のたまへれば 申給へは阿
 12 13 03 まいりぬ まいり給ひぬ阿
 12 13 03 など ナシ阿
 12 13 04 つとひ まいり阿
 12 13 04 けり ナシ阿
 12 13 04 ちかきみすの内にいれ給てもやのみすおる
 してちかきかたのみすのまへにいれてみす
 おろし給てうちに阿
 12 13 05 けにいといたくいといたうけに阿
 12 13 05 やせノにあをみてれいもほこりにやせ
 ノなるさまにてあをみてれいのおりもほこ
 り阿
 12 13 05 はなやきたる はなやかなる保阿
 12 13 06 しつめたる しつかなる阿
 12 13 07 いとゝしつめていとゝしくしつまりて保阿
 〔いとゝしくいとゝしくしつ阿〕
 12 13 07 たまふさま 給保阿
 12 13 07 みこたち 宮たち阿
 12 13 08 さらにも阿
 12 13 09 いと思ひやりなき おもひやりなき阿
 12 13 09 こそいと こそ保阿
 12 13 09 などと阿
 12 13 09 さりけなく さりけなくもてなし阿
 12 13 10 そのことゝなく ナシ阿
 12 13 10 いとひさしくなりけり ひさしくなりけり
 阿
 12 13 10 月ころは 月ころ保阿
 12 13 11 みあつかひ あつかひ保
 12 13 11 いとまなき いとなき阿

12 13 11 御賀の御かたの保
 12 13 12 ほつしほそつし保ほつしなど阿
 12 13 12 つかうまつりつかまつり保
 12 13 12 給へくありし給へかりし保給へるめる
 阿
 12 13 12 つきノノとノこほるつきノノにさはる
 阿
 12 13 13 かくノかく保
 12 13 13 としめせめつればえとしのせめくれは
 阿
 12 13 13 思ひのことくおもひのことくも保思のことく
 也阿
 12 13 13 かたのことくかたのやつに阿
 12 13 14 御賀などいへはかくなといひなせる阿
 12 13 14 おいゝつるおひゝつる保をひいて侍る
 阿
 12 14 01 けるをけるも阿
 12 14 01 まいなどならはしはしめしその事をたにはた
 さんとてナシ阿
 12 14 02 はたさんとてはたさむとてなむ保
 12 14 02 拍子ひやうし保はつに阿
 12 14 02 こと又たねにかはことなとをきて又たれか
 は阿
 12 14 03 うらみもすてける振をすてけり阿
 12 14 04 御けしきの御けしき阿
 12 14 04 いとノいと阿
 12 14 05 おほえておもほえて阿
 12 14 05 えきこえす月ころかたノにおほしなやむ御
 ことナシ阿

12 14 06 わつらひをこり阿
 12 14 07 とろせくおこりをこりて阿
 12 14 07 侍りて侍りてしつみて阿
 12 14 07 ふみたつるふみたつる二割訂力保
 12 14 07 事もことん保
 12 14 08 月ころ月日阿
 12 14 08 しつみ侍てナシ阿
 12 14 08 などもなとへも阿
 12 14 08 世中世中に阿
 12 14 09 年なりとしなりとしたかきにて保としの
 きさみにて阿
 12 14 10 よし心さしもふかきよし阿
 12 14 10 ちしのおとちしのおとも阿
 12 14 11 おしますてしおしますしてし阿
 12 14 11 すみナシ阿
 12 14 11 けにナシ阿
 12 14 12 ところ心阿
 12 14 12 心心さし阿
 12 14 12 まつるまなる保申給阿
 12 14 13 ことのこと阿
 12 14 13 まいりてま入阿
 12 14 14 いかすかなるさまにおほしすましていかめ
 しき御よそひをまちつけたてまつり給はむす
 くよかにおもほしさまして今めかしき御よそ
 ひをはまち見奉らん阿
 12 15 01 おほすましくおほさるましく阿
 12 15 01 ことをもをはこととも阿
 12 15 02 御物かたり御物かたりなど阿
 12 15 02 御ねかひ御思に阿

12 15 02 給はむ給つらん阿
 12 15 03 侍へきと申給へは侍へきなど申給阿
 12 15 03 女二の宮女二宮阿
 12 15 03 御方さま御かた阿
 12 15 04 おほすおもほす阿
 12 15 04 ことそきたるさまことそきさま保阿
 12 15 04 世人世の人保心をやれる世人阿
 12 15 04 みるへきをみつへきを阿
 12 15 05 さはいへとさいへと保阿
 12 15 05 されはよされとよ阿
 12 15 05 いとおもひなられ侍大将はおほやけかた
 は思なりける大将のおほやけさまは阿
 12 15 06 をとなふめれとをよすけたためれと阿
 12 15 06 かうやつにかやつに保阿
 12 15 07 あらむ有けん阿
 12 15 07 院院などに阿
 12 15 07 心御心阿
 12 15 07 ことは事阿
 12 15 08 うちにもうちに保阿中に阿
 12 15 08 かしこくかしこつ阿
 12 15 08 しりとへのへのへのへしり阿
 12 15 09 おほしすてたるやつなれ思すて給へるやつ
 なれと阿
 12 15 09 しつかにしめやかに保
 12 15 09 事こと保こと阿
 12 15 10 大将ともるともに大将もる心に保
 12 15 11 心はへ心しらひ保阿
 12 15 11 よくナシ阿
 12 15 11 ことかた保阿

12 15 12 いと(いふ)と(保)
 12 15 13 この御まへをとくたちなむとおもへはとく
 御まへを立給なんとし給へれば阿
 12 15 13 御まへをまへ保
 12 15 14 こまやかにもあらうてこまやかならうて阿
 12 15 14 大将 れいの大将君阿
 12 16 01 まひ人 ナシ阿
 12 16 01 さうそくのことなどさうそくなどのこと
 保さうそくなど阿
 12 16 01 またノ ナシ阿
 12 16 02 かきり かきりを阿
 12 16 02 つくし給へるにいとくし給へるにそかたノ
 ノ阿
 12 16 02 心しらひ心しらへ阿
 12 16 03 みちはみちの阿
 12 16 03 給める 給ける阿
 12 16 04 御方ノ物みたまはむに御かたノ物見
 給はん阿
 12 16 04 あらせしとてあらしとてまひのわらはへ
 阿
 12 16 04 あかき あかきノ上カラカヲ書ク保
 12 16 05 したかさねを 下かさね阿
 12 16 06 さらかさねを さらかさね阿
 12 16 06 きたる きたる保
 12 16 07 らつを 廊阿
 12 16 07 かく所にて かく所にして保阿
 12 16 07 そは きは阿
 12 16 07 御前 おまへ保
 12 16 07 ほとほと程阿

12 16 07 仙遊霞と いうせんかかとせんゆかとい保ち
 かつと阿
 12 16 08 いさゝかすこし阿
 12 16 08 ちかくちかき保阿
 12 16 09 ほゝゑみたりほゝゑみたる阿
 12 16 09 式部卿のみや右のおとゝはかり 式部卿御子
 左のおとゝ大将のきんたちはかりうちには
 阿
 12 16 10 それよりしもの ナシ阿
 12 16 10 すのこすそ阿
 12 16 11 などなどの事も阿
 12 16 11 つかうまつりま入阿
 12 16 11 右の大とのゝ四らう君 みきのおほい殿ノ四
 らつきみ保 右のおとゝの三郎阿
 12 16 12 三らう君 四郎阿
 12 16 12 兵部卿のみや 兵部卿宮阿
 12 16 12 そむわうの君たちふたりはそんわうの君二
 人阿
 12 16 12 万歳樂 まんさいらく阿
 12 16 13 いと ナシ阿
 12 16 13 らうたけ也 らうたけなり保
 12 16 13 いつれとなく いつれともなく阿
 12 16 13 こにて こともにて阿
 12 16 14 おかしけにおかしけにて阿
 12 16 14 思ひなしも 思なしに阿
 12 16 14 御子の 御こ保阿
 12 16 14 ないしのすけはら 内待すけはら阿
 12 17 01 二らう君 四郎きみ保 太郎君阿
 12 17 01 式部卿の宮 式部卿宮阿

12 17 01 兵衛督 兵衛のかみ保 兵衛すけ阿
 12 17 01 源中納言の御こ 源中納言とそその御子
 阿
 12 17 02 右のおほるとの 右の大殿阿
 12 17 02 三らう君 三郎保阿
 12 17 02 大将殿のたらう 大とのゝ三郎阿
 12 17 03 喜春樂 まんさいらく阿
 12 17 03 まひとを まるとんを保舞阿
 12 17 03 君たち おさなきんたち阿
 12 17 03 おとなたちなど おとなきみたちなど保 ナシ
 阿
 12 17 03 まひける まひ給けり阿
 12 17 04 くれゆけは 日くるれば阿
 12 17 04 あげさせ まきあげさせ阿
 12 17 04 いとつুকしき いとつুকしきことつুক
 しき保
 12 17 05 すかたにて ナシ阿
 12 17 05 さまも さま阿
 12 17 05 おほむ師ともゝをのゝてのかきりをしへ
 きこえけるに ナシ阿
 12 17 05 おほむ師 御し保
 12 17 06 きこえける きこえたりける保
 12 17 07 いつれをも いつれも阿
 12 17 07 おほす おもほす阿
 12 17 07 給へる たる阿
 12 17 07 かむたちめたちは 上達部は阿
 12 17 08 みな ナシ阿
 12 17 08 式部卿の宮 式部卿宮阿

12 17 08 御まこを御むまこを保 御むまこのけしき阿
 12 17 08 おほしておもほして阿
 12 17 08 御はなの御はな保
 12 17 09 あるしの院あるし院阿
 12 17 09 そへてはゑひなきこそそへてゑひなきにこそ阿
 12 17 09 わざなりけれ物は有けれ阿
 12 17 10 衛門督ゑもんのかみ保
 12 17 10 心とゝめてめとめて保阿
 12 17 10 ほゝゑまるゝほをゑまるゝ保
 12 17 10 さりともさりとん保
 12 17 10 ならんなん阿
 12 17 11 とし月とおいは年月をは阿
 12 17 11 うちみやり給に見やり給ふ阿
 12 17 12 くんしてくつして阿
 12 17 12 まことにナシ阿
 12 17 12 なやましければいみじきこともめもとまらぬ
 心ちする人をしもなしてわきてそらゑひをしつゝ
 ゝなやましき人をもしらすそらゑひをしつゝ
 なしつゝわきて阿
 12 17 13 とまらぬとゝまらぬ保
 12 17 13 しつゝして保
 12 17 14 やつなれとことゝむねつふれてやつなれと
 もむねつふれければきゝしらぬやつにてある
 を阿
 12 17 14 めくりくるもめくりきたるもこと阿
 12 17 14 おほゆればおもほえければ阿
 12 18 01 まきはすまきはす給ふ阿

12 18 01 もたせなからたひノゝし給へはたひノゝ
 もたせなからしゑそし給へれば阿
 12 18 02 はしたなくてもてわつらぶさまなへての人に
 ゝすおかし心地かきみたりてたへかたければ
 またこともはてぬにまかて給ぬるまゝには
 したなくおもほえてもてわつらひ給またこと
 もはてぬにかきみたれくるしければまかて給
 まゝに阿
 12 18 03 こともことん保
 12 18 04 いとナシ阿
 12 18 04 おとろゝしきをとりかき保
 12 18 05 思ひつゝおもへる阿
 12 18 05 のほりぬるあかりける阿
 12 18 05 はかりはかりにふと阿
 12 18 06 身つから思ひしらる身なからも思しらるゝ
 阿
 12 18 07 やかていとナシ阿
 12 18 07 いたくいたう保
 12 18 07 おとゝはゝ北の方北方阿
 12 18 07 おほしおもほし阿
 12 18 08 よそノゝにてよそにては阿
 12 18 09 またナシ阿
 12 18 09 ことなべてことなく保
 12 18 09 すくすへきひすくする月日保すくし給へき
 人阿
 12 18 09 心のとかにあいなたのみしてあひなため
 して阿
 12 18 10 いまはとわかれたてまつるへき今はとてわ
 かれ給へき阿

12 18 11 かとてナシ保
 12 18 11 おもふはおもへは阿
 12 18 11 をくれてナシ阿
 12 18 11 ことのこと阿
 12 18 12 いみしとナシ阿
 12 18 12 思ふおほす保阿
 12 18 12 はゝみやす所も宮す所も阿
 12 18 12 いとみしくいとみしく保いとみしく
 阿
 12 18 12 なけき思なけき保
 12 18 12 給て給阿
 12 18 12 世のことゝしてよのことゝて阿
 12 18 13 おやは猶なをおやは阿
 12 18 13 をきたてまつりてをきたて給入りて阿
 12 18 13 御なからひはなからひの阿
 12 18 13 とあるおりもとあるをり保とあり阿
 12 18 13 かるおりもかるおりにも阿
 12 18 14 たまはぬたてまつり給はねは保
 12 18 14 ことさま保阿
 12 18 14 ひきわかれてひきわかれ給て阿
 12 18 14 ものしたまふまてもすくし給はむか心つくし
 なるへきことを物し給をまちすくし給はん
 心つくしなるを阿
 12 19 01 すくしすくし保
 12 19 01 ししししは保阿
 12 19 01 こゝにてこゝに保
 12 19 01 こゝにてかくてこゝにみたまへとよくて心
 み給へとこゝにかく阿
 12 19 02 御きちやうはかりをみき丁はかり阿

12 19 02 ことほりやことほりにや阿
 12 19 03 身にてをよひかたき身にをよひなき阿
 12 19 04 さぶらふしるしにはなかく世に侍りてナシ
 阿
 12 19 04 ほともほとをも阿
 12 19 05 けちめをもやけちめもや阿
 12 19 05 おもふ給つれおもふ給入つれ保思給入
 阿
 12 19 05 いとナシ阿
 12 19 05 いみしくいみじう阿
 12 19 05 かくかう阿
 12 19 06 なり侍へれはなりはへりなは保侍て
 阿
 12 19 06 御覽しはてられすやなり侍りなむとおもふ
 たまふるになんとまりかたき心地にも御ら
 んせられすやなりなんとまりかたきみちを
 阿
 12 19 07 思給へらるゝなとおもふ給へらるゝなと
 保おもほえ給侍し阿
 12 19 08 えわたり給はねはわたり給はす阿
 12 19 08 はゝきたのかたうしろめたくはゝ北方のう
 らめしく阿
 12 19 09 みえむとは見えんと阿
 12 19 09 おもひたまふましきおもふ給ましき保思給
 ましき阿
 12 19 10 心ほそき時は物心ほそきおりには阿
 12 19 10 ゆかしくもゆかしくも保ゆかしく阿
 12 19 11 かくかう阿
 12 19 11 ことゝうらみきこえ給も又いとことほりな

りわたり給はぬ事とつらみ給入はこれもこ
 とほりなれは阿
 12 19 12 さきなりけるさきなる保阿
 12 19 12 おもひならひたるをおもほしならひたるを
 保阿「おもほしおほし阿」
 12 19 12 かなしくいとかなしく保わかゝしく
 阿
 12 19 13 し給ひておほしまとはしたり阿
 12 19 13 みえぬをはみぬをは保みぬは阿
 12 19 13 物事阿
 12 19 13 かくかう保ナシ阿
 12 19 14 たてまつらならむ奉らさらんは阿
 12 20 01 又ナシ阿
 12 20 01 たいめんたいめ阿
 12 20 02 をろかにをろかなるさまに阿
 12 20 02 こともことん保
 12 20 03 しらてしらすて阿
 12 20 03 なかく近く阿
 12 20 04 ことゝよとて阿
 12 20 04 とまり給てとまりて阿
 12 20 05 よろつにまたよろつに阿
 12 20 05 たちまちにいたくいま阿
 12 20 06 なとをさらにナシ阿
 12 20 07 けるにけるか阿
 12 20 07 かうしなとをたにあちはひをも保くた物な
 とに阿
 12 20 07 ふれたまはすふれはゝす保
 12 20 07 たゝや阿

12 20 08 やつにやつにそ保
 12 20 08 さるさるは阿
 12 20 08 いうそくのかくいそく(う)そくのか「く力」
 保いうそくに阿
 12 20 08 世中世の中に阿
 12 20 09 御とふらひしはゝ御つかひたひゝ
 阿
 12 20 10 きこえつゝたまひつゝ保給て阿
 12 20 10 いみしくいみじう阿
 12 20 10 おほしめしたるにもおほいたるにつけても
 阿
 12 20 11 おほしおもほし保
 12 20 11 御とふらひに御とふらひ保阿
 12 20 13 給つゝ給て阿
 12 20 13 いみしくナシ阿
 12 20 13 御賀は廿五日に御賀も四五日に阿
 12 20 14 はらからはらからの阿
 12 20 14 おもくいとをもく保
 12 20 01 しほれほれ阿
 12 21 01 にてなれは阿
 12 21 02 事なれは事なりとて阿
 12 21 03 いかてかはいかてか阿
 12 21 03 とゝまらむとまらむ保とまらんと阿
 12 21 03 女宮ひめ宮保阿
 12 21 03 御心の内御心中阿
 12 21 03 いとおしくいとをしと保
 12 21 04 給給ける阿
 12 21 04 御す経みす行保阿
 12 21 04 御てらみてら保